

ABBYY® FineReader 14

システム管理者ガイド

本書に記載されている情報は、予告なく変更されることがあり、その内容について ABBYY は何ら責任を負いません。本書で説明されているソフトウェアは、使用許諾契約に基づいて提供されます。

同ソフトウェアは、契約条件に厳密に従った場合に限り、使用および複製が行えます。使用許諾契約または機密保持契約で明確に許可されている場合を除き、ソフトウェアを何らかの媒体に複製することは、ロシア連邦の「ソフトウェアおよびデータベースの法的保護に関する」法律および国際法に違反します。本書のいかなる部分も、書面による ABBYY の明示的な許可を得ることなく、電子的またはその他のいかなる形式または方法によっても、その目的を問わず、複製または伝送を行ってはなりません。

著作権

目次

ライセンスタイプと製品バージョン別のインストールとライセンス認証方法 5

- 展開方法 5
 - 1台のコンピュータにインストール (標準ソフトウェアインストール) 5
 - 複数のコンピュータにインストールする 6
 - ターミナルサーバーへのインストール 7

LAN での ABBYY FineReader 14 の展開 (複数のコ 8

- 管理 インストール フォルダの要件 9
- License Server の要件 9
- ライセンス管理者ステーションの要件 9
- ワークステーションの要件 10

管理 インストール 10

- ライセンスサーバーとLicense Manager のインストール 11
- 管理 インストール ポイントの作成 13

ライセンスの管理 14

シート毎のライセンスでマルチユーザー配布パッケージを展開する 15

- 管理 インストール フォルダの要件 15
- ワークステーションの要件 16

シート毎のライセンスでマルチユーザー管理 インストールポイントを作成する 17

ワークステーションへの ABBYY FineReader 14 のインストール 18

- インタラクティブ インストール 19
- コマンドライン インストール 19
 - サイレント インストール 20
 - サイレント インストール用の追加的なコマンドライン オプション 21
 - サイレントモードでの ABBYY FineReader 14 のアンインストール 23
- アクティブディレクトリを使用する方法 24
 - 例: Active Directoryを使用して ABBYY FineReader 14 (64 ビットまたは32 ビット)を配備する 25
 - グループポリシーを使用した ABBYY FineReader 14 のインターフェイスの変更 32
- Microsoft System Center Configuration Manager (SCCM) の使用 35
 - 例: SCCMを使用して ABBYY FineReaderを展開する14 36

ABBYY FineReader 14 をターミナルサーバーにインストールする 44

- ターミナルサーバーシステムの要件 45
- Windows RemoteAppのセットアップ 46
- Citrix XenAppのセットアップ 49

インストールの更新 54

FAQ (よくある質問) 54

目次

ABBYY FineReader 14がインストールされているオペレーティングシステムを複製できますか?	54
ネットワーク接続設定を変更するには、どうすればよいですか?	54
ネットワーク接続のセットアップ	55
接続プロトコルのセットアップ	56
接続ポートのセットアップ	56
ワークステーションで ABBYY FineReader 14 を修復するには、どうすればよいですか?	56
インタラクティブモードでの ABBYY FineReader 14 の修復	56
コマンドラインを経由した ABBYY FineReader 14 の修復	57
License Server をホストしているコンピュータの名前を変更したり License Server を別のコンピュータに移動したりするには、どうすればよいですか?	58
テクニカル サポート	59

ライセンスタイプと製品バージョン別のインストールとライセンス認証方法

各ライセンスタイプの展開方法の可用性

	スタンドアロン	接続クライアント数	同時	ターミナルサーバー
1台のコンピュータにインストール (標準ソフトウェアインストール)	+	+	推奨されません	+
ターミナルサーバーへのインストール	-	-	+	+
複数のコンピュータへのインストール: 管理者用インストールポイント	-	+	+	-
複数のコンピュータへのインストール: 管理者用インストールポイントと自動ライセンス認証	-	+	-	-

展開方法

1台のコンピュータにインストール (標準ソフトウェアインストール)

1. この方法は、**Concurrent**以外のすべてのライセンスタイプに適しています。
2. FineReaderがインストールされている場合は、**スタンドアロン**と**ターミナルサーバー**ライセンスでライセンス認証する必要があります。

複数のコンピュータにインストールする

複数のコンピュータにABBYY FineReader 14をインストールするための管理者用インストールポイントを作成し、ABBYY FineReaderをサーバーからワークステーションに展開できます。

ABBYY FineReaderはサーバーによってライセンス認証されます。

1. 管理者用インストールの作成

ライセンスサーバーとライセンスマネージャによる管理インストール

- インターネット接続はワークステーションでは必要ありません。
- ライセンスマネージャが必要です。
- この製品は、同じLAN内のワークステーションにのみインストールできます。

Per-Seatライセンスと自動ライセンス認証を伴うマルチユーザー管理インストールポイント

- ワークステーションでインターネット接続が必要です。
- ライセンスマネージャは不要です。
- この方法により、異なるLAN内のコンピュータにFineReaderを展開することができます。

2. 展開方法

次のいずれかの方法でABBYY FineReaderをワークステーションにインストールします:

- インタラクティブモードで手動で
標準のソフトウェアインストール方法。この方法は、スタンドアロンおよびターミナルサーバーのライセンスに適しています。
- コマンドラインを介して
サイレントインストールタイプを使用できます。セットアップ中にダイアログボックスは表示されません。
- Active Directory
 - この方法は、特定のコンピュータまたはドメインのグループにFineReaderを展開するためにグループポリシー管理でのみ使用できます。
 - この方法では、インターネットアクセスが必要な特定のメニュー項目やコマンドを非表示にすることができます。
- Microsoft System Center Configuration Manager (SCCM)
この方法は、ほとんどのオートメーションを提供します。

ターミナルサーバーへのインストール

ターミナルサーバーライセンス

1. このタイプのライセンスを使用すると、FineReaderが1台のコンピュータ(ターミナルサーバー)にインストールされます。任意のインストール方法を使用することができます(たとえば、「手動で対話モードで」)。既存のユーザーグループを選択して、ABBYY FineReader 14へのアクセスを付与するにはWindows RemoteAppおよびCitrixXenAppを使用します。
2. ABBYY FineReader 14をライセンス認証する必要があります。
3. ABBYY FineReader 14はリモートコンピュータだけでなく、ターミナルサーバーでも実行できます。
4. **ターミナルサーバー**のライセンスタイプを使用する場合、FineReaderにアクセスできるWindowsアカウントの最大数は制限されます。最大ユーザー数に達した場合、リストからユーザーを削除することができます。以前のライセンスと異なるライセンスパラメータを使用して、追加の**ターミナルサーバー**ライセンスをライセンス認証できます。

コンカレントライセンス

1. このタイプのライセンスを選択したら、管理者インストールポイントを作成しライセンスサーバーとライセンスマネージャをインストールする必要があります。
2. ABBYY FineReader 14のライセンス認証にはライセンスマネージャを使用する必要があります。

LAN での ABBYY FineReader 14 の展開 (複数のコ

ABBYY FineReader 14 はローカルエリア ネットワークでインストールを行い、使用することができます。

ABBYY FineReader 14をローカルエリア ネットワークにインストールする場合、自動インストールを利用すると、個別のワークステーションにプログラムを手動でインストールする必要がないため、迅速かつ柔軟に作業できます。

ABBYY FineReader は、Microsoft® Windows® 7 (またはそれ以降) の下で動作するコンピュータから展開できます。

展開プロセスは次のステップで構成されています。

1. 管理インストール

- ABBYY FineReader 14 License Server および ABBYY FineReader 14 License Manager のインストール方法の詳細については [「ライセンスサーバーと License Manager のインストール」^{\[11\]}](#) を参照してください。
注意: ABBYY FineReader 14 License Manager がインストールされたコンピュータは、「ライセンス管理者ステーション」になります。
- 管理インストールポイントの作成
方法の詳細については [「管理インストールポイントの作成」^{\[13\]}](#) を参照してください。
注意: License Server、License Manager、およびワークステーションが使用するネットワーク接続設定は、変更が可能です。詳細については以下を参照してください。 [ネットワーク接続設定を変更するには、どうすればよいですか? ^{\[54\]}](#)
注意: 管理インストールポイントと License Server は、同じコンピュータまたは異なるコンピュータのいずれかに配置できます。

2. ライセンスの管理

ライセンスは ABBYY FineReader 14 License Manager を利用して管理します。
ABBYY FineReader 14 のインストール時にライセンスが各ワークステーションに正しく割り当てられるようにするために、特定のライセンスを取得する優先順位を特定のワークステーションに設定する必要があります。これを目的として、特定のワークステーションのためにライセンスおよびライセンスのプールを予約します。ライセンスプールは、プログラムへのアクセスを提供する一連のライセンスです。プールを使用すると、ライセンスの管理が容易になります。たとえば、プールに複数のライセンスを追加し、各ライセンスを個別に予約する代わりに特定のワークステーション用にプールを予約することができます。 [ライセンスの管理](#)^[14]。

3. 次の方法のいずれかを使用した、ワークステーションへの ABBYY FineReader のインストール

- インタラクティブモードで手動により
- コマンドライン経由
- アクティブディレクトリ

- Microsoft System Center Configuration Manager (SCCM)
方法の詳細については [「ワークステーションへの ABBYY FineReader 14 のインストール」^{18\)}](#) を参照してください。

注 ABBYY FineReader 14の32ビット版は、64ビットシステムにはインストールできません。32ビットシステム上での64ビットバージョンでも同様です。

重要事項

管理インストールポイントと同じフォルダに License Server を配置しないでください。

管理インストールフォルダの要件

1. 管理インストールポイントを作成するための空きディスク容量 1.2 GB
2. コンピュータに ABBYY FineReader がインストールされるすべてのユーザーについて、管理インストールフォルダ(例: \\MyFileServer\Distribs\ABBYY FineReader 14) の読み取り権限。
3. 管理インストールポイントが作成されるサーバー (\\MyFileServer) は、長いファイル名をサポートするオペレーティングシステムの下で動作するファイルサーバーである必要があります。
4. アクティブディレクトリ® を使用して ABBYY FineReader 14 を展開する場合、ドメイン コンピュータアカウントには管理インストールフォルダの読み取り権限が必要となります。

License Server の要件

1. ライセンス ファイルおよびアカウントを作成するための空きディスク容量 100 MB。
2. License Server がインストールされるサーバー (\\MyLicenseServer) は、Microsoft® Windows® 10、Microsoft® Windows® 8.1、Microsoft® Windows® 8、Microsoft Windows 7、Microsoft Windows Server 2016、Microsoft Windows Server 2012、Microsoft Windows Server 2012 R2、Microsoft Windows Server 2008、Microsoft Windows Server 2008 R2、の下で動作する必要があります。
3. License Server のオペレーティングシステムによってサポートされている接続数は、少なくともプログラムを使用する可能性のあるユーザーの合計数と同数である必要があります (同時ライセンスについてのみ)。

ライセンス管理者ステーションの要件

1. Microsoft® Windows® 10、Microsoft® Windows® 8.1、Microsoft® Windows® 8、Microsoft Windows 7、Microsoft Windows Server 2016、Microsoft Windows Server 2012、Microsoft Windows Server 2012 R2、Microsoft Windows Server 2008 R2、の下で動作するコンピュータ。
2. 空きディスク容量 100 MB

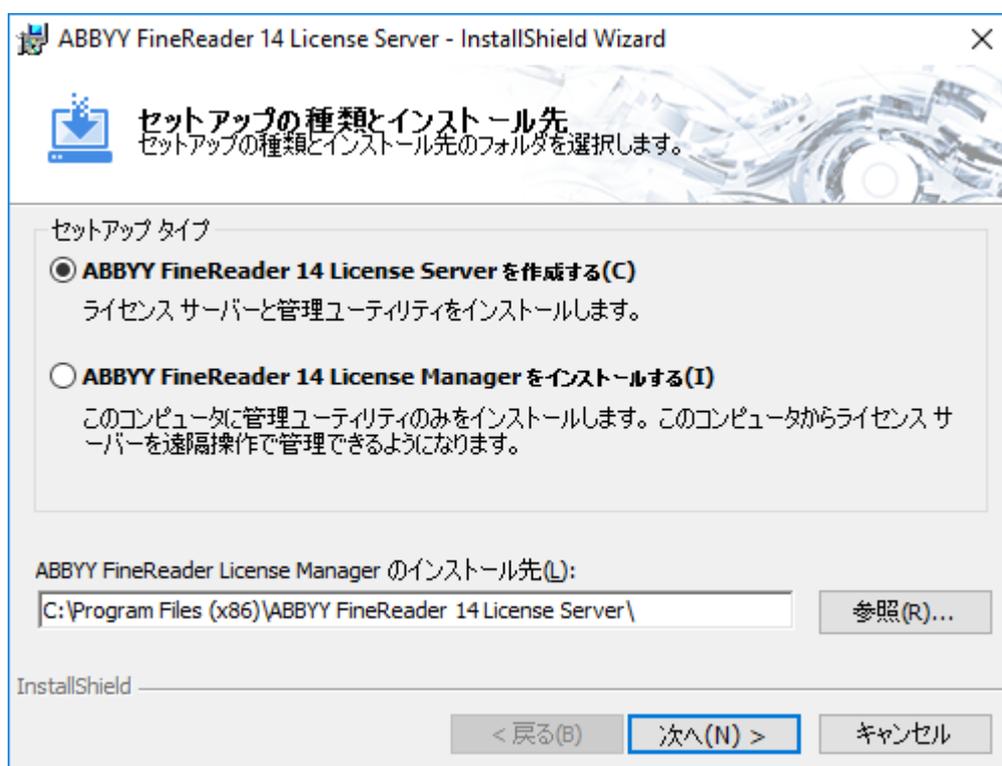
ワークステーションの要件

1. 1 GHz または 32 ビット (x86) または 64 ビット (x64) プロセッサ SSE2 命令のセット。
2. オペレーティング システム: Microsoft® Windows® 10、Microsoft® Windows® 8.1、Microsoft® Windows® 8、Microsoft Windows 7、Microsoft Windows Server 2016、Microsoft Windows Server 2012、Microsoft Windows Server 2012 R2、Microsoft Windows Server 2008 R2、(ローカライズされたインターフェイスで作業するには、オペレーティング システムが該当する言語をサポートしている必要があります)。
3. 1 GB の RAM (4 GB を推奨)
さらに 512 MB RAM がマルチプロセッサシステムの各追加プロセッサに必要です。
4. インストールに 1.2GB の空き容量、プログラムの動作に追加の 1.2GB。
5. 1024 × 768 以上の解像度をサポートするビデオカードとモニター。
6. キーボードおよびマウスまたはその他のポインティング デバイス。

管理 インストール

ライセンスサーバーとLicense Manager のインストール

1. セットアップディスクをDVDドライブに挿入し、自動的に起動するのを待つか、セットアップディスクまたは他のインストールメディア上の **License Server\Setup.exe** ファイルを実行します。
2. セットアッププログラムによって表示される指示に従います。
 セットアップでは次の操作が行えます。
 - ABBYY FineReader License Server と ABBYY FineReader License Manager をインストールします。License Server と License Manager は同じコンピュータにインストールされます。License Manager がインストールされるフォルダを指定することができます。
 - ABBYY FineReader 14 License Manager のみをインストールします。License Manager がインストールされるフォルダを指定し、License Server をホストするコンピュータの名前を指定する必要があります。



注意:

- ABBYY FineReader 14 のライセンスを複数のユーザーが管理する場合は、各ユーザーのコンピュータに License Manager のユーティリティをインストールしておく必要があります。
- 各ユーザーはサーバー上の次の2つのローカルグループのいずれかのメンバーである必要があります。
 1. ABBYY Licensing Administrators

2. BUILTIN\Administrators

ユーザー認証は、次のファイルで無効にすることができます

%programfiles%\Common

Files\ABBYY\FineReader\14.00\Licensing\NetworkLicenseServer.ini

(64ビットシステムをご使用の場合、または %commonprogramfiles(x86)%\

ABBYY\FineReader\14.00\Licensing\NetworkLicenseServer.ini)

このファイルは、License Server がインストールされているコンピュータにあります。このファイルに次のパラメータを追加します。

[Licensing]

EnableManagerAuthorization = false

重要事項 変更を有効にするためには、ABBYY FineReader 14 Licensing Service を再起動する必要があります。

管理インストールポイントの作成

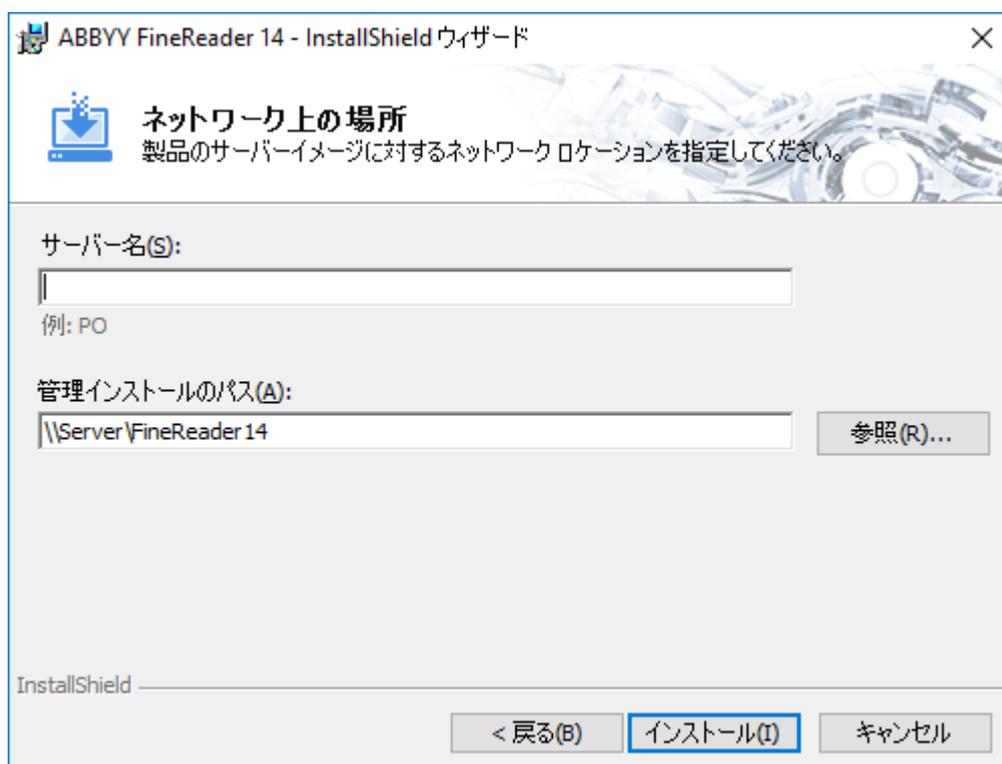
1. セットアップディスクをDVDドライブに挿入し、自動的に起動するのを待つか、セットアップディスクまたは他のインストールメディア上の **Setup.exe /a** ファイルを実行します。

注 [サイレントインストール用の追加的なコマンドラインオプション](#) ^[19] 参照

2. セットアッププログラムによって表示される指示に従います。
 セットアッププログラムによる指示が表示されたら、次の項目を指定します。

- License Server がインストールされるコンピュータの名前
- 管理インストールフォルダへのパス

重要事項 ABBYY FineReader をワークステーションにインストールした後は、管理インストールフォルダを移動しないでください。



ライセンスの管理

ABBYY FineReader 14 License Manager は ABBYY FineReader 14 と共に提供される特別なアプリケーションで、ABBYY FineReader のライセンス管理を目的としています。このアプリケーションは、ABBYY FineReader 14 がローカルエリアネットワークに展開されたときに、ライセンス管理ステーションにインストールされます (詳細については [ライセンスサーバーとLicense Manager のインストール](#) を参照)。

ABBYY FineReader 14 License Manager を用いてライセンスの設定を行います。

1. ABBYY FineReader 14 License Manager にライセンスを追加します。

ABBYY FineReader 14 のライセンス (またはライセンスのグループ) には、ライセンスを識別する固有のシリアル番号があります。ライセンスの認証を行って ABBYY FineReader 14 License Manager に追加するには、ライセンスのシリアル番号の認証を行う必要があります。

2. ライセンスのプールを作成し、必要なライセンスをプールに追加します。

ライセンスのプールとは、レベルが同じライセンスまたはシリアル番号のセットです。ライセンスプールを利用することにより、ライセンスの作業が容易になります。たとえば、各ライセンスを個別に予約する代わりに、ライセンスをプールに追加して、そのプールを特定のワークステーションのために予約できます。

3. プールとライセンスを適切なワークステーションのために予約します。

ワークステーションに ABBYY FineReader 14 をインストールする前に、各ワークステーションにライセンスを割り当てる必要があります。すなわち、ABBYY FineReader 14 License Manager を使用して適切なワークステーションのためにライセンスを予約します。あるワークステーションのためにライセンスを予約すると、そのライセンスを使用できるのは、そのワークステーションのみになります。

重要事項 ワークステーションへの ABBYY FineReader 14 のインストールを開始する前に、ライセンスとプールを予約してください。ワークステーションに ABBYY FineReader をインストールした後で、ワークステーションの結び付けまたは結び付け解除を行うには、ワークステーションからプログラムを削除する必要があります。ワークステーションに ABBYY FineReader をインストールした後で、あるワークステーションから別のワークステーションに接続クライアント単位ライセンスを移動するには、ライセンス認証を解除する必要があります。ライセンス認証を解除できる回数には制限があります。

ライセンスの種類および ABBYY FineReader 14 License Manager での作業についての詳細は、ABBYY FineReader 14 License Manager ヘルプのファイルを参照してください。

シート毎のライセンスでマルチユーザー配布パッケージを展開する

一般的な配布パッケージとは異なり、マルチユーザー配布パッケージは、License ServerやLicense Managerのインストールを必要としません。

ローカルエリアネットワーク上にマルチユーザー配布パッケージを配置するには、以下のステップで行います。

1. マルチユーザー管理インストールポイントの作成

このステップで、マルチユーザー・アクティベーションキーが配布パッケージに追加され、シリアル番号を入力しなくても、ABBYY FineReaderをワークステーションにインストールできます。

2. 次の方法のいずれかを使用した、ワークステーションへのABBYY FineReader のインストール

- インタラクティブモードで手動により
- コマンドライン経由
- アクティブディレクトリ
- Microsoft System Center Configuration Manager (SCCM)

方法の詳細については「[ワークステーションへのABBYY FineReader 14 のインストール](#)^[18]」を参照してください。

注 ABBYY FineReader 14の32ビット版は、64ビットシステムにはインストールできません。32ビットシステム上での64ビットバージョンでも同様です。

管理インストールフォルダの要件

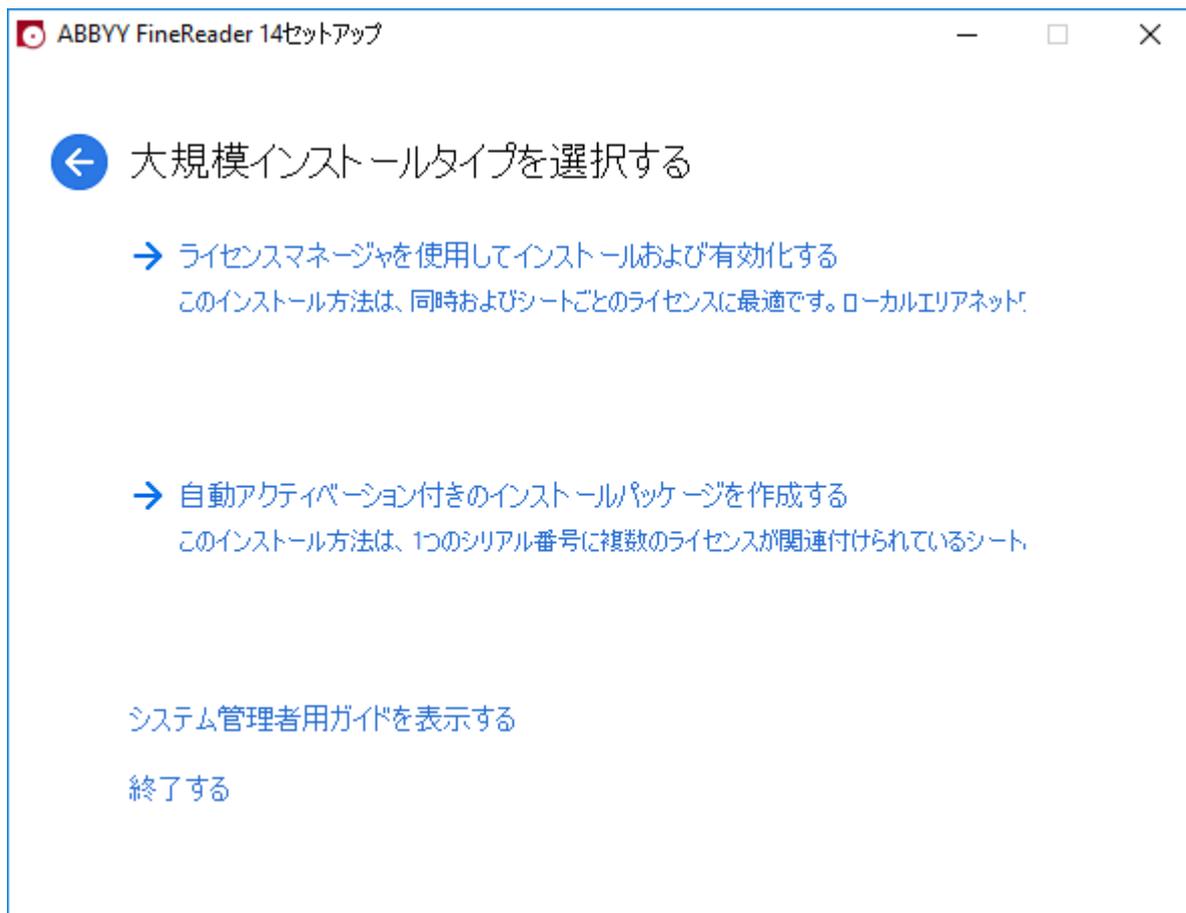
1. 管理インストールポイントを作成するための空きディスク容量 1.2 GB
2. コンピュータにABBYY FineReader がインストールされるすべてのユーザーについて、管理インストールフォルダ(例: \\MyFileServer\Programs Distributions\ABBYY FineReader 14) の読み取り権限。
3. 管理インストールポイントが作成されるサーバー (\\MyFileServer) は、長いファイル名をサポートするオペレーティングシステムの下で動作するファイルサーバーである必要があります。
4. アクティブディレクトリ® を使用して ABBYY FineReader 14 を展開する場合、ドメイン コンピュータアカウントには管理インストールフォルダの読み取り権限が必要となります。
5. パスは、以下の要件を満たさなければなりません：
 - Unicode対応でないアプリケーション用のデフォルトのシステム言語として、言語のコードページに記載されていない文字は、パスには使用できません。
 - また、中間フォルダの名前の最初にスペース文字を使用することはできません。

ワークステーションの要件

1. 1 GHz または 32 ビット (x86) または 64 ビット (x64) プロセッサ SSE2 命令のセット。
2. オペレーティング システム: Microsoft® Windows® 10、Microsoft® Windows® 8.1、Microsoft® Windows® 8、Microsoft Windows 7、Microsoft Windows Server 2016、Microsoft Windows Server 2012、Microsoft Windows Server 2012 R2、Microsoft Windows Server 2008 R2、(ローカライズされたインターフェイスで作業するには、オペレーティング システムが該当する言語をサポートしている必要があります)。
3. 1 GB の RAM (4 GB を推奨)
さらに 512 MB RAM がマルチプロセッサシステムの各追加プロセッサに必要です。
4. インストールに 1.2GB の空き容量、プログラムの動作に追加の 1.2GB。
5. 1024 × 768 以上の解像度をサポートするビデオカードとモニター。
6. キーボードおよびマウスまたはその他のポインティング デバイス。

シート毎のライセンスでマルチユーザー管理インストールポイントを作成する

1. ABBYY FineReader 14 DVD-ROM、あるいは配布パッケージをコピーしたフォルダにある**Autorun.exe** ファイルを実行します。
 あるいは
 セットアップディスクまたは他のインストールメディア上の**Setup.exe /a** ファイルを実行します
 注 [サイレントインストール用の追加的なコマンドラインオプション](#)^[21] 参照
2. 一括インストールをクリック > **自動ライセンス認証可能なインストールパッケージの作成**をし、インストールポイントのバージョンを選択します。



3. セットアッププログラムの指示に従います。
 マルチユーザーアクティベーションキーを既存の配布パッケージに追加するか、新しい管理インストールポイントを作成します。新しい管理インストールポイントを作成する場合、新しい管理インストールポイントがあるフォルダへのパスを指定する必要があります。パスは、以下の要件を満たさなければなりません：
 - Unicode対応でないアプリケーション用のデフォルトのシステム言語として、言語のコードページに記載されていない文字は、パスには使用できません。
 - また、中間フォルダの名前の最初にスペース文字を使用することはできません。

その結果、ABBYY FineReader 配布パッケージが作成され、シリアル番号を入力しなくてもワークステーションへインストールできるようになります。製品はインターネット上で自動的に認証され、ユーザーに確認を求めません。ただし、インストールされる製品のワークステーションがインターネットに接続されていなければなりません。

詳細は、[ワークステーションへの ABBYY FineReader 14 のインストール](#)^[18]を参照してください。

ワークステーションへの ABBYY FineReader 14 のインストール

重要！ ワークステーションに ABBYY FineReader 14 をインストールする前に、必ず下記を行ってください：

- 管理インストールポイントを作成し、ABBYY FineReader 14 License Manager ([ライセンスサーバーと License Manager のインストール](#)^[11]、[管理インストールポイントの作成](#)^[13]、[ライセンスの管理](#)^[14]を参照)を使ってライセンスを構成する。
あるいは
- マルチユーザー管理インストールポイント([シート毎のライセンスでマルチユーザー配布パッケージを展開する](#)^[15]を参照)を作成します。

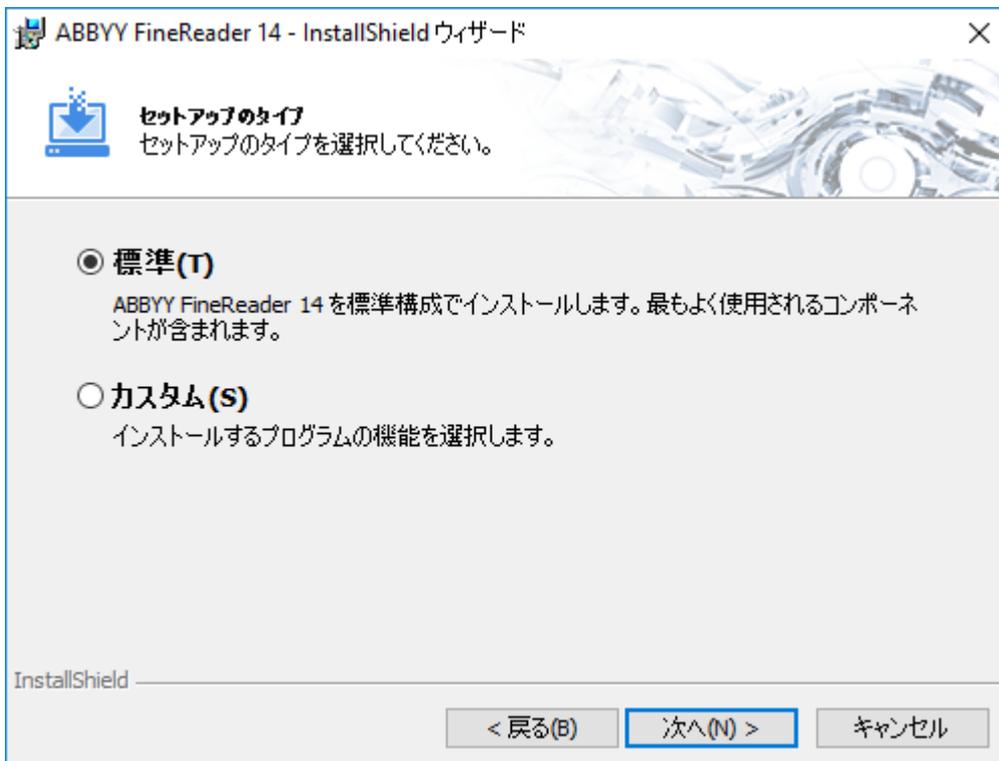
インストール時のライセンスの設定に従って ABBYY FineReader 14 がワークステーションにインストールされた場合、ワークステーションは接続クライアント単位ライセンスを取得してサーバーに結び付けられます。

注意:

1. ワークステーションが別のマシンからクローン化された場合は、ライセンスメカニズムの誤動作を防ぐために、ABBYY FineReader をインストールする前にセキュリティ識別子 (SID) の値を変更する必要があります。
2. ABBYY FineReader を使用するには、Microsoft Core XML Services (MSXML) 6.0 がワークステーションにインストールされている必要があります。

インタラクティブ インストール

1. 管理インストールポイント([管理インストール](#)^[10]参照)あるいは、マルチユーザー管理インストールポイント([シート毎のライセンスでマルチユーザー配布パッケージを展開する](#)^[15]参照)を作成します。
2. 管理インストールフォルダにある**setup.exe** ファイルを実行します。



3. セットアップウィザードによって表示される指示に従います。

コマンドライン インストール

1. 管理インストールポイント([管理インストール](#)^[10]参照)あるいは、マルチユーザー管理インストールポイント([シート毎のライセンスでマルチユーザー配布パッケージを展開する](#)^[15]参照)を作成します。
2. 下記のコマンドラインパラメータを使用して、管理インストールフォルダにある**setup.exe** ファイルを実行します。

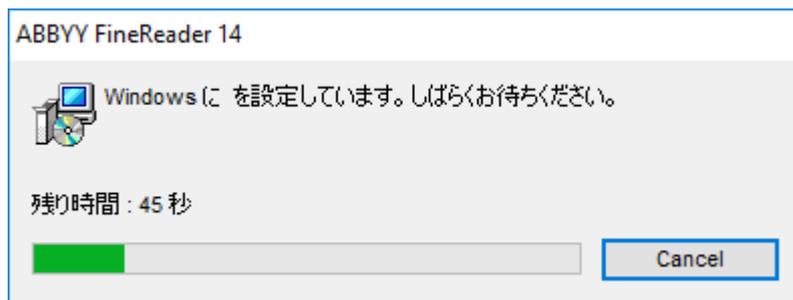
サイレントインストール

サイレントインストールを行うには、次の文字列を入力します

Setup.exe /qn

サイレントインストールの場合、セットアップダイアログボックスは表示されず、プログラムは既定の設定でインストールされます (インターフェイス言語はコンピュータの地域設定に基づいて自動的に選択されます)。

注意: インストールの進捗度バーを表示する場合は、"/qn" を "/qb" に変更します。他のダイアログボックスは一切表示されません。



サイレント インストール用の追加的なコマンドライン オプション

/L<言語コード> は、インターフェイス言語の自動選択を無効にし、コマンドラインで指定したインターフェイス言語で ABBYY FineReader をインストールします。

あなたはmsi ファイルを使用してインストールする場合 :Transforms=<言語コード>.mst

利用できる可能性のある言語コード*の値:

1026 ブルガリア語

1028 中国語 (繁体字)

1029 チェコ語

1030 デンマーク語

1031 ドイツ語

1032 ギリシヤ語

1033 英語

1034 スペイン語

1036 フランス語

1038 ハンガリー語

1040 イタリア語

1041 日本語

1042 韓国語

1043 オランダ語

1045 ポーランド語

1046 ポルトガル語 (ブラジル)

1049 ロシア語

1051 スロバキア語

1053 スウェーデン語

1055 トルコ語

1058 ウクライナ語

1061 エストニア語

1066 ベトナム語

2052 中国語 (簡体字)

*利用可能なインターフェイス言語の数は、ご使用の頒布パッケージの種類により異なります。

/a ?管理者用インストールポイントを作成できるようにする

/V"<コマンドライン>" は、指定したコマンドラインを **msiexec.exe** に直接、渡します。「コマンドライン」の語句の代わりに次の語句を指定できます。

INSTALLDIR="<path>"	ABBYY FineReader 14をインストールするフォルダのパスを指定します。
EXPLORER_INTEGRATION=0	ABBYY FineReader 14とWindowsエクスプローラの統合を不可能にします。
SHCTDESKTOP=0	デスクトップにABBYY FineReader 14アイコンの作成を不可能にします。
SSR_AUTORUN=0	システム起動時にABBYY Screenshot Readerの起動を不可能にします。
DEFAULT_PDF=1	ABBYY FineReader 14を *PDFファイルを開くためのデフォルトアプリケーションにします。
DONT_ASK_ABOUT_DEFAULT=1	ユーザーがABBYY FineReader 14を *PDFファイルを開くためのデフォルトアプリケーションとして設定するダイアログボックスの表示を無効にします。
STATISTICS_ALLOWED=0	現在のABBYY FineReader 14の設定情報をインターネット経由でABBYYに送信不可能にする。
CHECK_UPDATES=0	更新の確認を不可能にします。
INSTALL_UPDATES=0	アップデートのダウンロードとインストールを不可能にします。
MARKETING_TIPS_ALLOWED=0	広告メッセージの表示を無効にします。
SSR=0	ABBYY Screenshot Readerのインストールを無効にします。
HF=0	ABBYY Hot Folderのインストールを無効にします。

COMPARATOR=0	ABBYYの比較ドキュメントのインストールを不可能にする
SN=<serial number>	シート毎のライセンスの自動ライセンス認証のシリアル番号を指定します。
LIC_SERVER_NAME=<path>	ライセンスサーバーへのパスを指定します。
ADMIN_SETUP=Serial/Server	指定した種類の管理者用インストールポイントを作成します。 ADMIN_SETUP= Serial 自動ライセンス認証のシリアル番号を入力できるダイアログボックスを表示します。 ADMIN_SETUP= Server ライセンスサーバーのアドレスを入力できるダイアログボックスを表示します。
EULA_ACCEPTED=1	ABBYY FineReader 14 エンドユーザー使用許諾契約を非表示にします。エンドユーザー使用許諾契約とプライバシー ポリシーに同意したものとみなされます。

例:

Setup.exe /qn /L1049 /v INSTALLDIR="C:\ABBYY FineReader 14" STATISTICS_ALLOWED=0

これにより ABBYY FineReader 14 がC:\ABBYY FineReader 14 にインストールされます。メニュー、ダイアログボックスおよびその他のインターフェイス要素はロシア語で表示されます。選択した ABBYY FineReader 14 設定に関する情報がインターネットを介して ABBYY に送信されることはありません。利用可能な OCR 言語のセットは、頒布パッケージの種類により異なります。

サイレントモードでの ABBYY FineReader 14 のアンインストール

msiexec /x {F14000CE-0001-0000-0000-074957833700}

あるいは

msiexec /x {F14000FE-0001-6400-0000-074957833700} (x64の場合)

アクティブディレクトリを使用する方法

Microsoft Windows Server ファミリのオペレーティングシステムには、**Active Directory** (AD) サービスが含まれています。ADのソフトウェアインストールコンポーネントの**グループポリシー**機能を使用すると、同時に複数のワークステーションにソフトウェアをリモートインストールすることができます。

Active Directoryには3つのインストール方法があります。

1. ユーザーに公開する (サポートされていない)
2. ユーザーに割り当てる (サポートされていない)
3. コンピュータに割り当てる

ABBYY FineReaderは、**コンピュータへの割り当て**方法を使用してのみインストールできます。

重要！

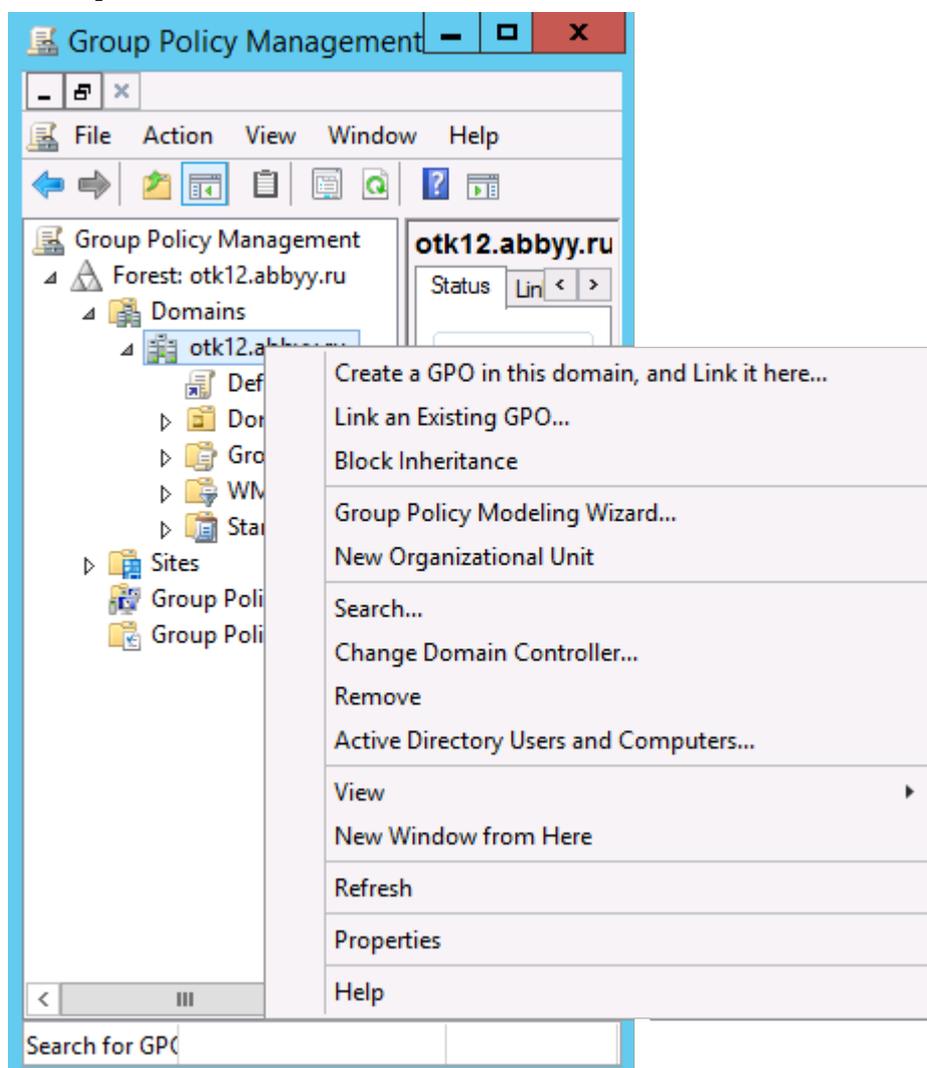
1. ワークステーションにFineReaderのインストールをするには再起動する必要があります。
2. - 次の例は、Microsoft Windows Server 2012 R2での展開を示しています。

例: Active Directoryを使用してABBYY FineReader 14(64ビットまたは32ビット)を配備する

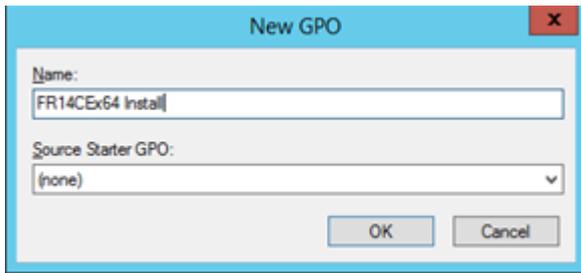
1. 管理インストールポイント(管理インストール¹⁰参照)あるいは、マルチユーザー管理インストールポイント(シート毎のライセンスでマルチユーザー配布パッケージを展開する¹⁵参照)を作成します。

注 ActiveDirectory®を使用してABBYY FineReader 14を展開する場合は、ドメインコンピュータアカウントに管理者用インストールフォルダの読み取り権限が必要です。

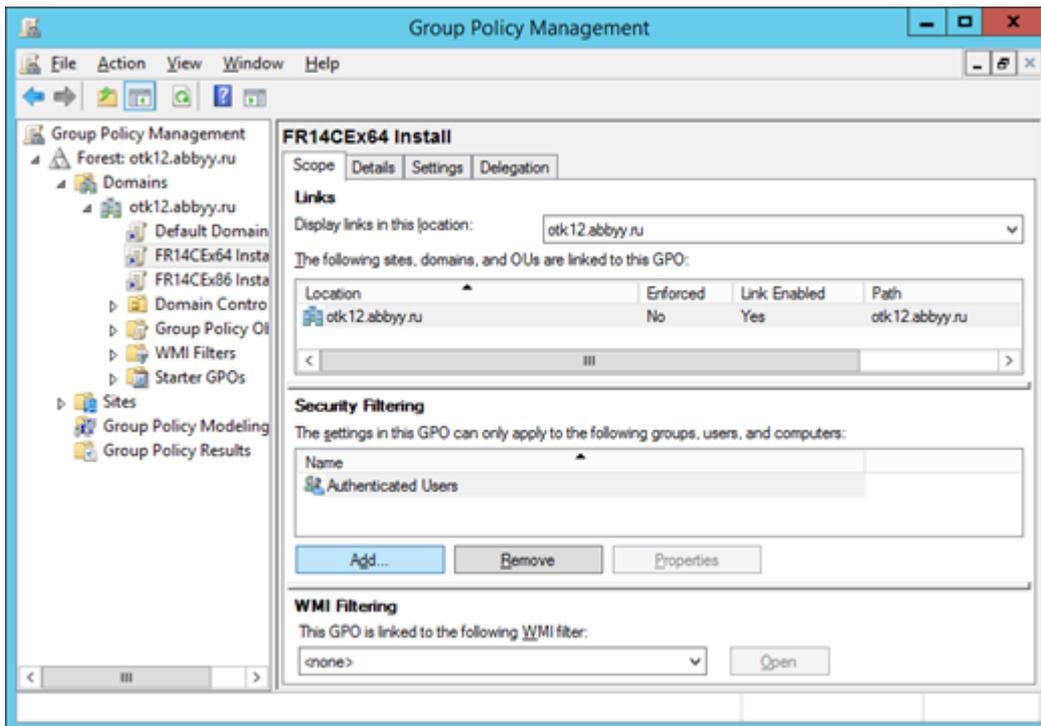
2. グループポリシー管理コンソール (gpmc.msc)を起動します。
3. 左側のツリーで、コンピュータまたはコンピュータのグループを含むサイト、ドメイン、またはその他の組織単位を選択します。これらのコンピュータにFineReaderがインストールされます。
4. 選択したツリーノードを右クリックし、ショートカットメニューの[Create a GPO in this domain, and Link it here...]**GPOの作成 ...ここにリンクする ..**をクリックします



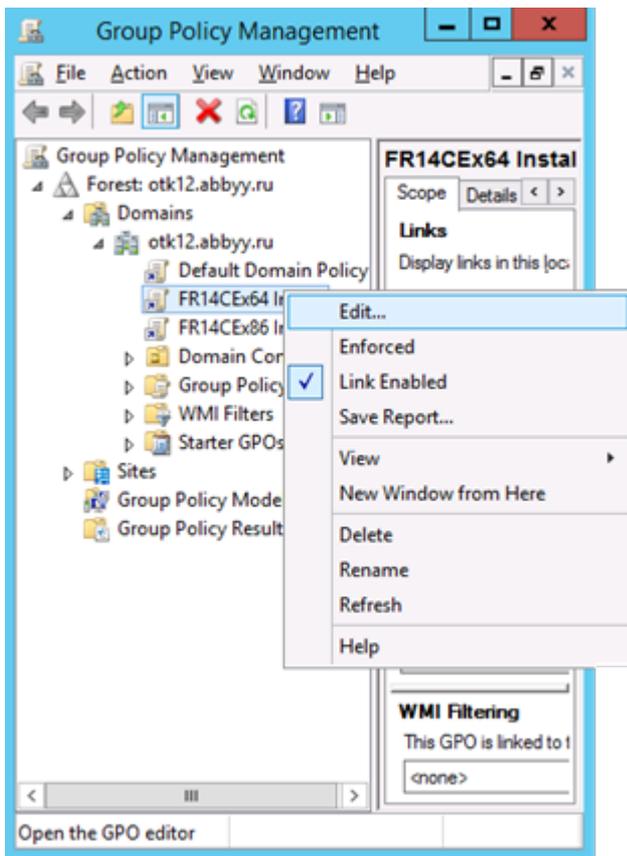
5. わかりやすい名前を入力し **OK** をクリックします。



6. **[Security Filtering]** セキュリティフィルタリンググループの**[Add...]**追加 ボタンをクリックし、ABBYY FineReader 14をインストールするコンピュータを含むグループを指定します。

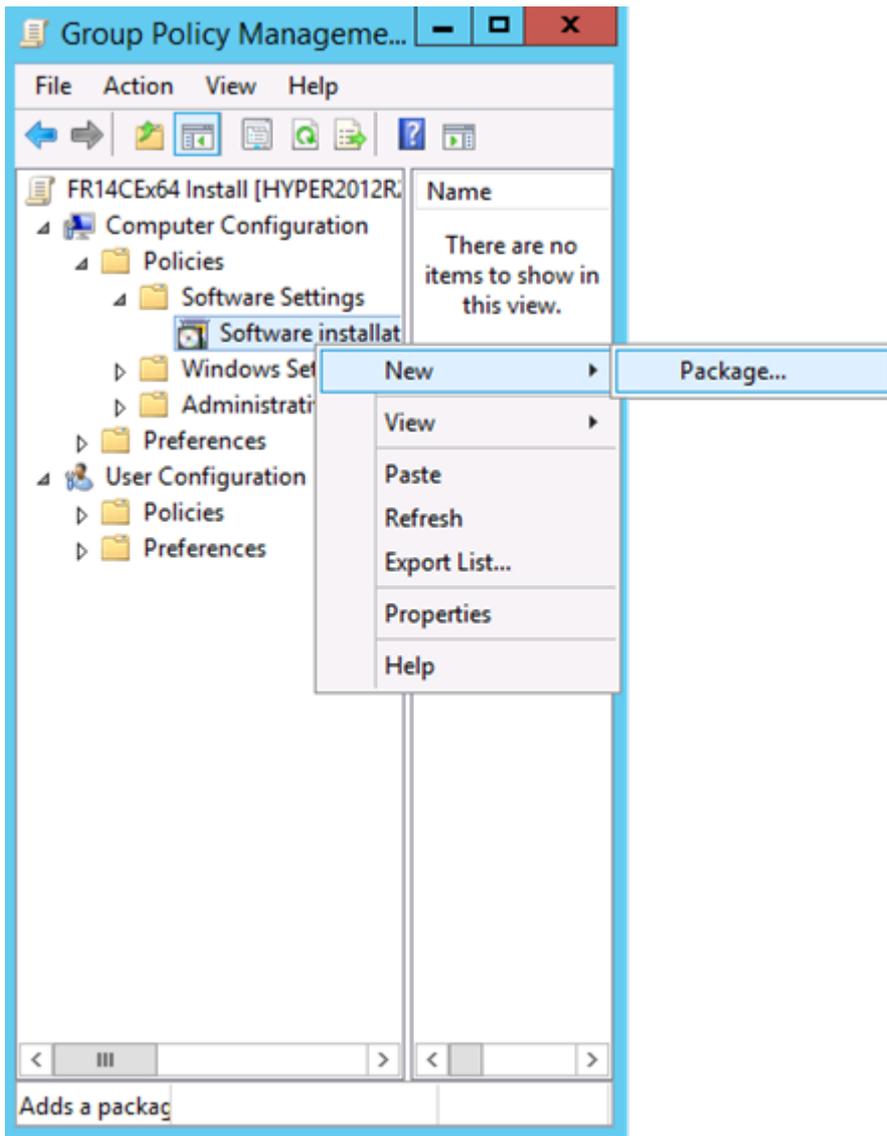


7. 作成したグループポリシーオブジェクト (GPO)を右クリックし、ショートカットメニューの[Edit...]編集 ..をクリックします



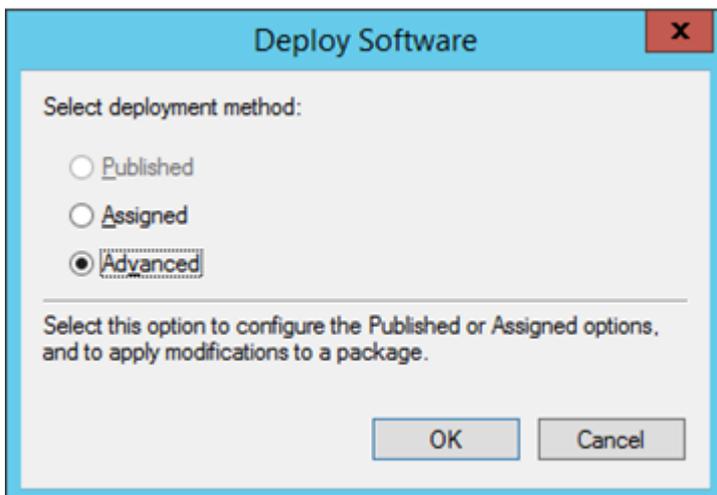
8. [Group Policy Management Editor] グループポリシー管理エディタダイアログボックス[Computer Configuration]にある、コンピュータの構成 > [Policies]ポリシー>[Software Settings]ソフトウェアソフトウェアの設定 > [Software installation]ソフトウェアのインストールの順にクリックします。

9. ショートカットメニューの[New]新規> [Package...]パッケージ ..をクリックします。

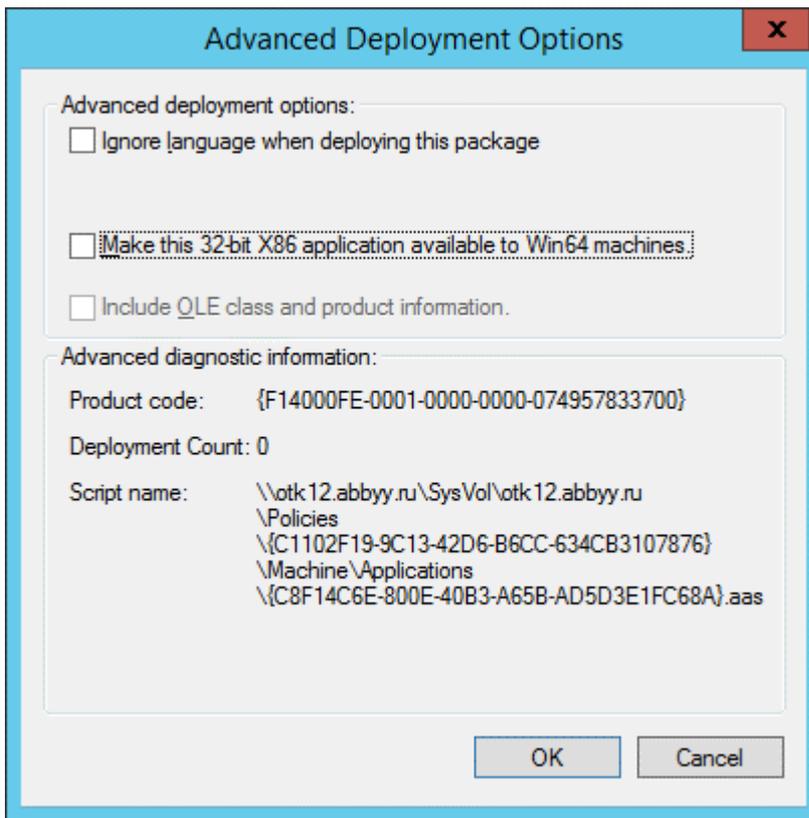


10. **ABBYY FineReader 14.msi** ファイル (32ビットシステムにインストールする場合)または**ABBYY FineReader 14 x64.msi**ファイル (64ビットシステムにインストールする場合)へのネットワークパスを指定します。これらのファイルは、サーバー上のABBYY FineReader 14配布フォルダにあります。

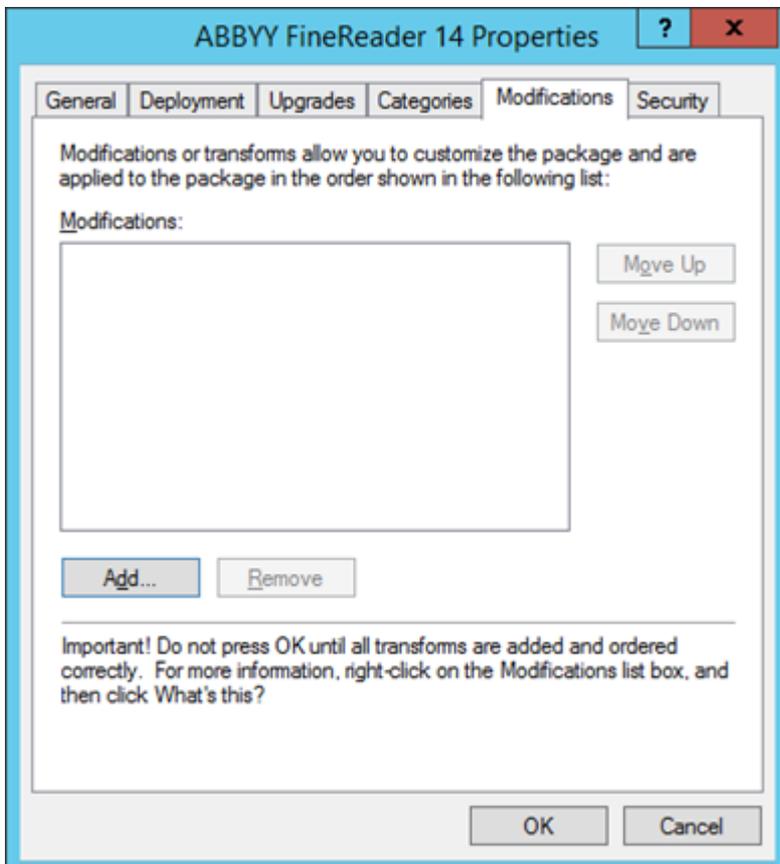
11. **[Advanced]**拡張展開方法を選択します。



12. ダイアログボックスが開きます。32ビット版をインストールする場合は、**[Deployment]**展開タブの**[Advanced]**拡張ボタンをクリックし、**[Make this 32-bit X86 application available to Win64 machines]**この32ビットX86アプリケーションをWin64マシンで使用できるようにするオプションが無効になっていることを確認します。



13. **[Modifications]**変更タブを選択し、**[Add...]**追加をクリックします。



14. 希望するABBYY FineReader 14インターフェイス言語のインターフェイス言語ファイルを選択します。言語ファイルは、サーバー上の管理者用インストールフォルダーにあります。

ファイル名とその言語は次のとおりです。

- 1026.mst ブルガリア語
- 1028.mst 中国語 (繁体字)
- 1029.mst チェコ語
- 1030.mst デンマーク語
- 1031.mst ドイツ語
- 1032.mst ギリシャ語
- 1033.mst 英語
- 1034.mst スペイン語
- 1036.mst フランス語
- 1038.mst ハンガリー語
- 1040.mst イタリア語
- 1041.mst 日本語
- 1042.mst 韓国語
- 1043.mst オランダ語
- 1045.mst ポーランド語
- 1046.mst ポルトガル語 (ブラジル)
- 1049.mst ロシア語
- 1051.mst スロバキア語
- 1053.mst スウェーデン語
- 1055.mst トルコ語
- 1058.mst ウクライナ語
- 1061.mst エストニア語
- 1066.mst ベトナム語

2052.mst 中国語 (簡体字)

例: ロシア語のインターフェイスのABBYY FineReader をインストールするには、**[1049.mst]** を選択します。

グループポリシーを使用した ABBYY FineReader 14 のインターフェイスの変更

ABBYY FineReader 14 では、インターネットへのアクセスを必要とするメニュー項目を無効にできます。該当するメニュー項目は下記のとおりです。

Enable 'ABBY Website' menu item: ブラウザ ウィンドウで ABBYY の Web サイトを開く

Enable 'Check for Updates' menu item: ABBYY FineReader 14 の更新をオンラインで確認する

Enable 'Send Feedback' menu item: ABBYY にフィードバックを送信するためのフォームを表示するブラウザ ウィンドウを開く

Enable Usage Statistics: ABBYY社が本ソフトウェアを改善できるよう 匿名化された ABBYY FineReader 14 の設定データを送信します

Enable 'Activate...' menu item: ABBYY FineReader 14 のライセンス認証プロセスを開始する

Enable 'Register...' menu item: ABBYY FineReader 14 の登録プロセスを開始する

Enable 'Buy...' menu item: ブラウザ ウィンドウで ABBYY のオンラインストアを開く

Enable loading marketing tips from the ABBYY servers: ABBYY FineReader 14 に関するヒントの読み込みと ABBYY 社のサーバーからの広告メッセージを許可します

Enable loading updates from the Web: 更新のダウンロードを有効にする

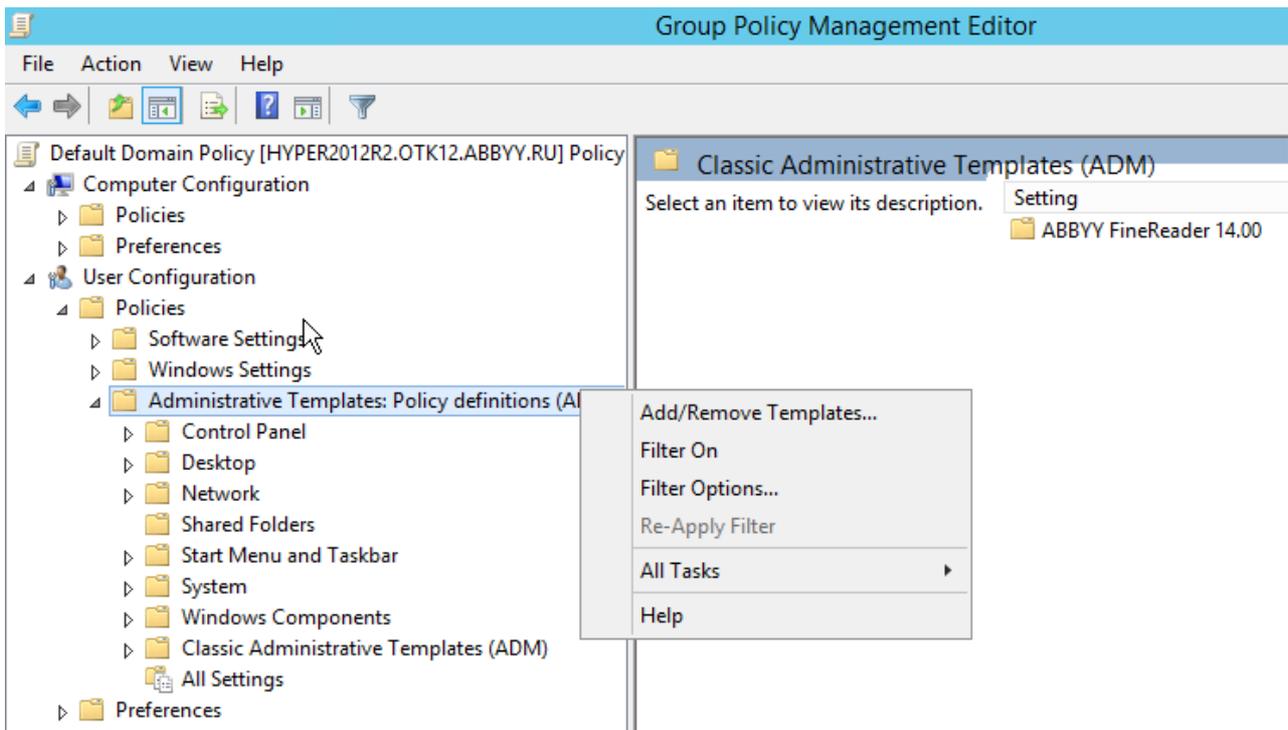
Enable online help: オンラインヘルプの表示を有効にする

重要事項 !これらの設定のファイルを手に入れるためには、テクニカルサポートに連絡する必要があります。このファイルには *adm という拡張子が付いています。

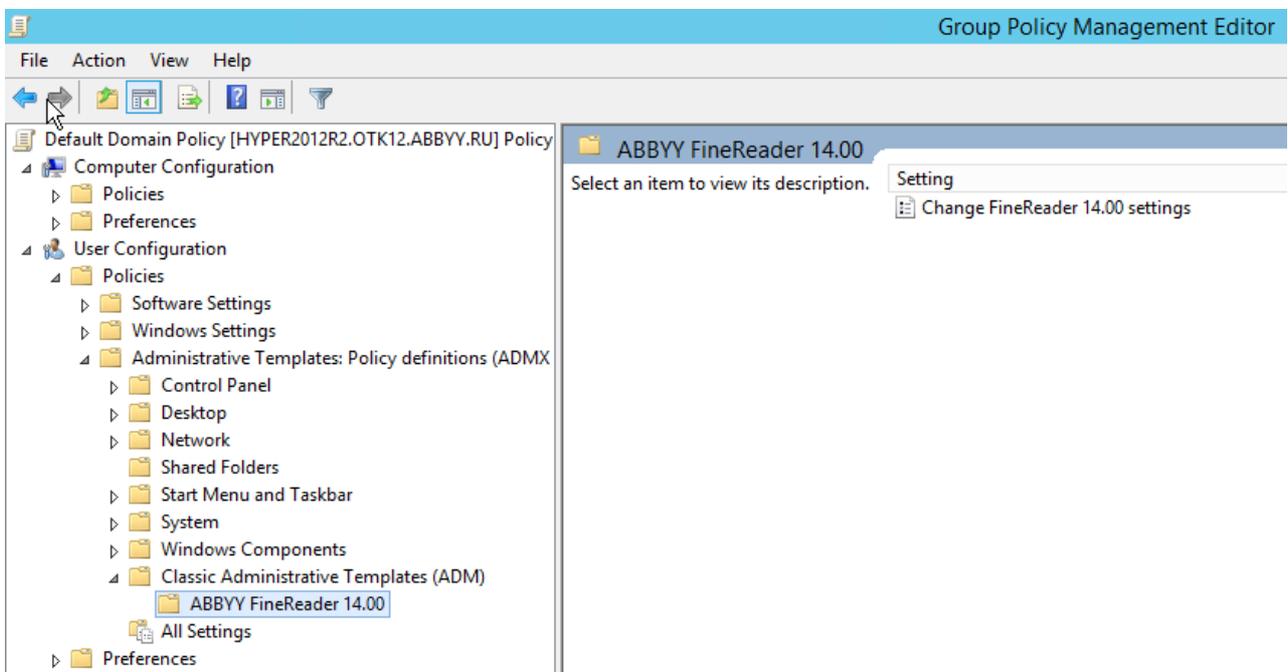
ABBYY FineReader 14 のインターフェイスを変更するには、以下の手順を実行します。

1. **[Group Policy Management] (グループポリシー管理)** コンソールを開きます (詳しくは、[例: Active Directoryを使用してABBYY FineReader 14 \(64ビットまたは32ビット\)を配備する](#)^[25] セクションの手順 4~6 を参照)。

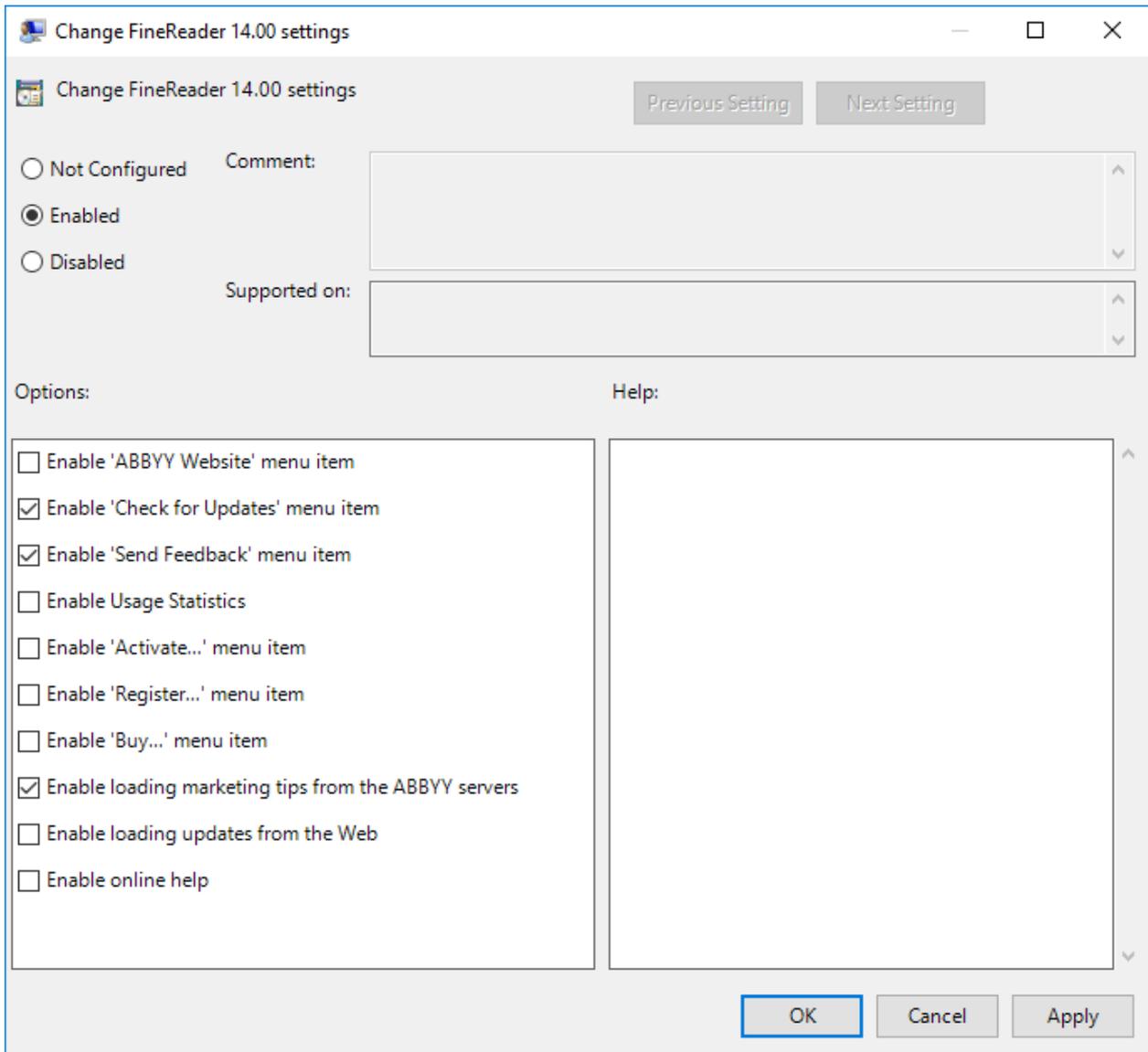
2. **[Group Policy Management Editor] (グループポリシー管理エディタ)** で、**[User Configuration]** > **[Policies]** > **[Administrative Templates]** > **[Add/Remove Templates...]** (**[ユーザー設定]** > **[ポリシー]** > **[管理テンプレート]** > **[テンプレートの追加 削除...]**) をクリックし、受信した *.adm ファイルを開きます。



3. ファイルを開いた後、**[Group Policy Management Editor] (グループポリシー管理エディタ)** に **Classic Administrative Templates (ADM)** といふ名前のフォルダが表示されます。*.adm ファイルはこのフォルダに含まれます。



4. ABBYY FineReader 14 のインターフェイスから削除するコマンドを選択し **[OK]** をクリックします。



5. 行った変更を保存するには、サーバー上のグループポリシーを更新し、ワークステーションで ABBYY FineReader 14 を再起動します。

Microsoft System Center Configuration Manager (SCCM) の使用

Microsoft System Center Configuration Manager は、ローカルエリアネットワークでのソフトウェア展開を自動化するため、ソフトウェアがインストールされる場所 (コンピュータ、グループ、またはサーバー) に直接移動する必要がなくなります。

SCCM を使用したソフトウェアの展開は、次の3つの段階で構成されています。

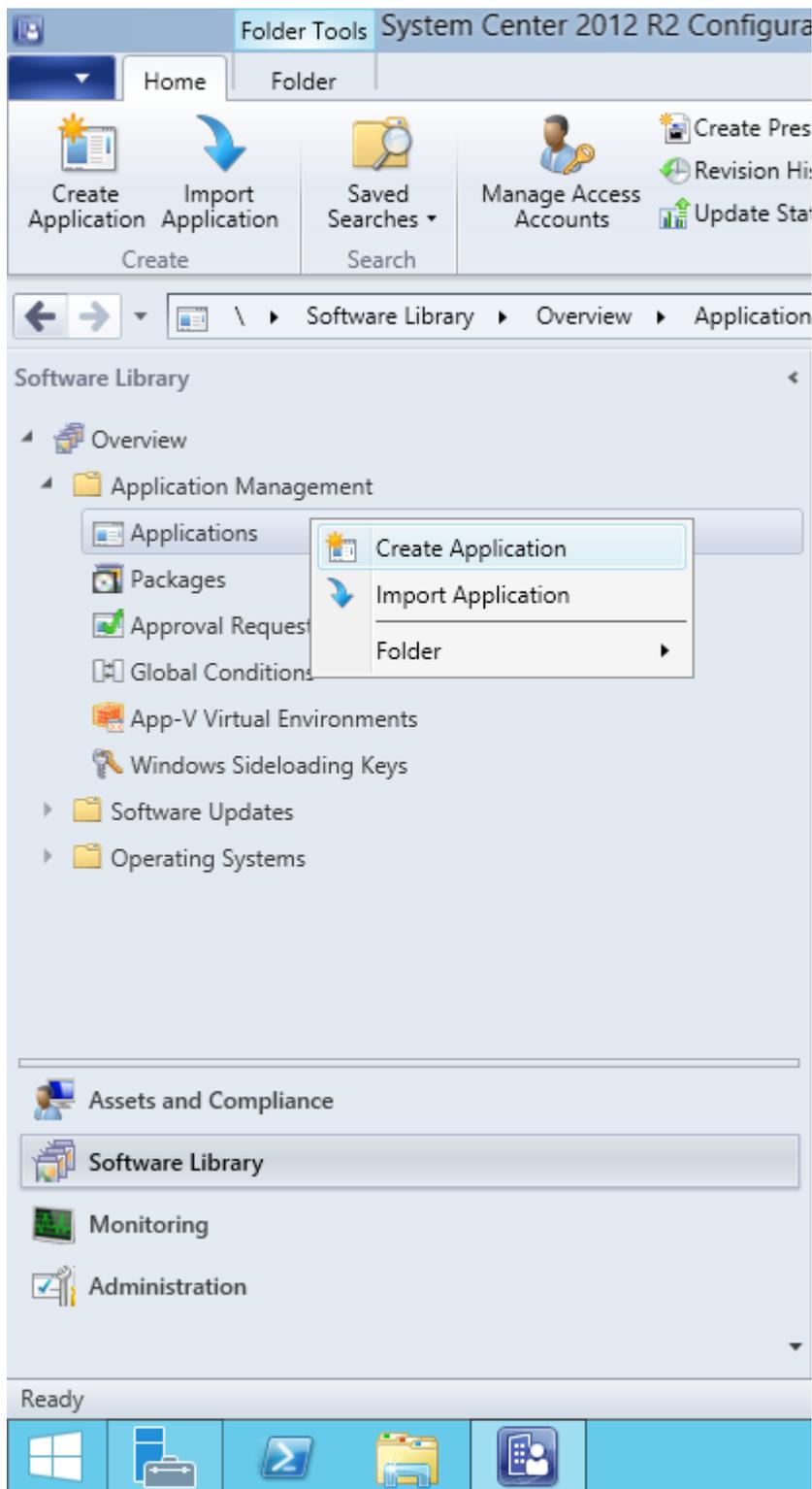
1. 自動インストールのための ABBYY FineReader 14 の準備 (いわゆる「無人セットアップ」の作成)。
2. 展開スクリプトの作成、すなわちインストールパラメータの選択。
 - コンピュータ名
 - インストールの時刻
 - インストールの条件
3. 指定されたコンピュータへのソフトウェアのインストール (スクリプトで指定されたインストールパラメータに従って SCCM が実行)。

例: SCCMを使用してABBYY FineReaderを展開する14

この例は、Microsoft Windows Server 2012の展開プロセスを示しています。

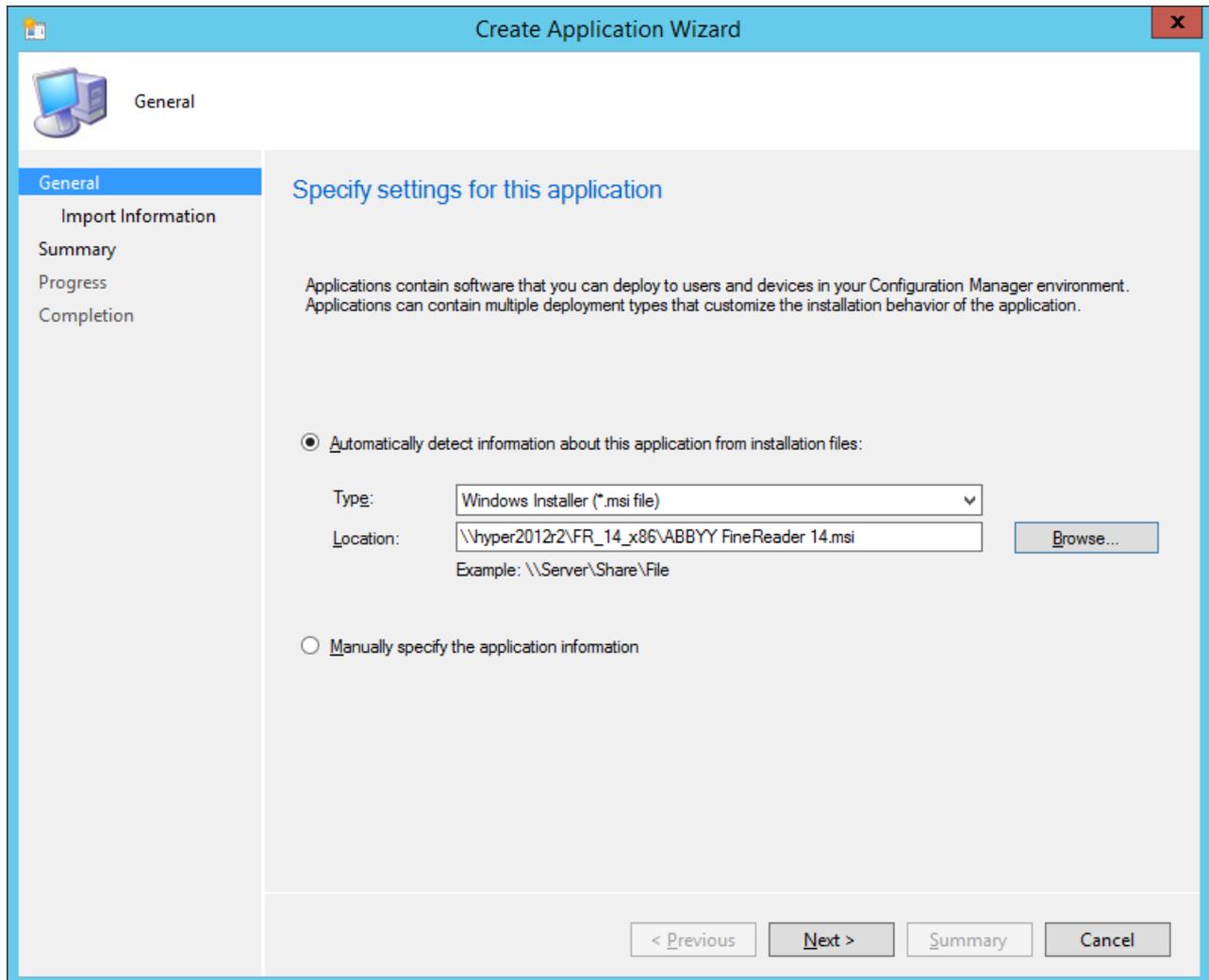
1. 管理者インストールポイント (参照[管理インストール](#)^[10])またはマルチユーザーインストールポイントを作成します ([マルチユーザー管理インストールポイントの作成](#)^[15]を参照)。
2. [SCCM Administrator Console]SCCM管理者 コンソールを起動し、[Software Library]ソフトウェアライブラリセクションを選択します。
3. [Application Management]アプリケーション管理グループで[Applications]アプリケーション項目を選択します。

4. **[Applications] アプリケーション**を右クリックし、ショートカットメニューの**[Create Application] アプリケーションの作成**をクリックします。

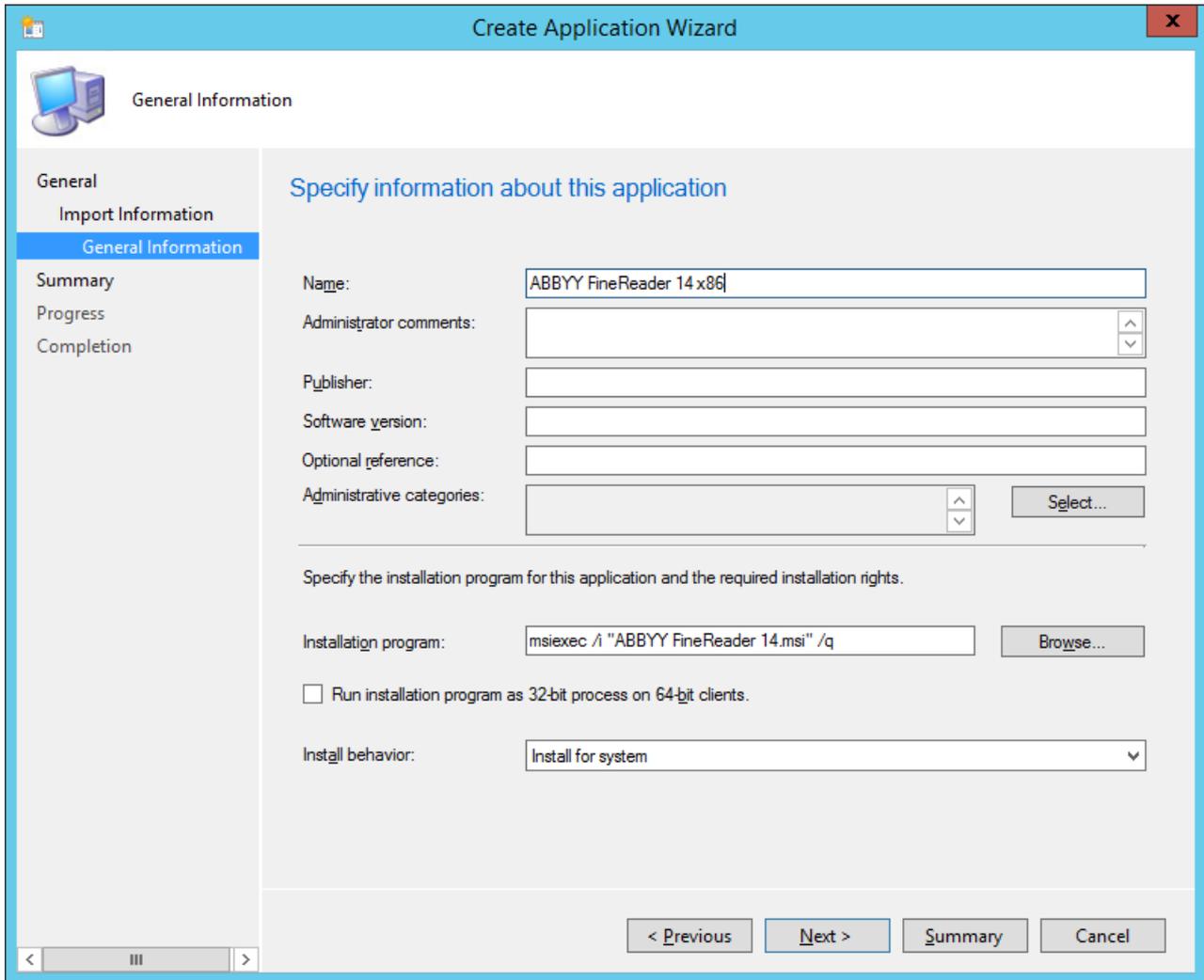


5. **[Create Application Wizard] アプリケーションの作成 ウィザード**ダイアログボックスで、**[Automatically Detect information about this application from installation files]** インストールファイルからこのアプリケーションに関する情報を自動的に検出するを選択します。**[Type]**種類 ドロップダウンリストから**[Windows Installer]**Windowsインストーラ(*.msi ファイル)を選択します。**[Location]**場所ボックスに管理者用インストールポイントのパスを指定し、**[Next]**次へをクリックします。

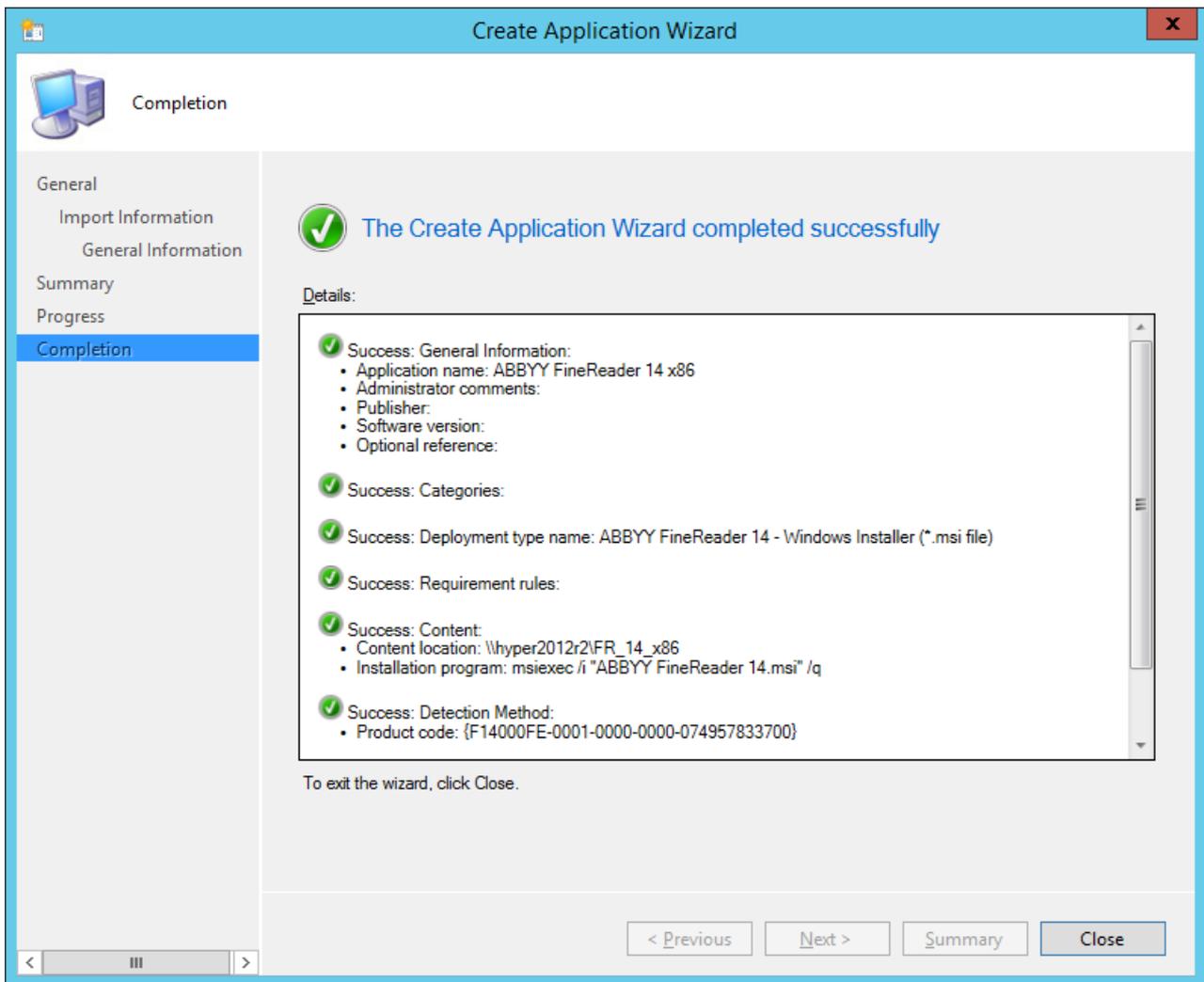
注 .ABBYY FineReader 14の32ビット版は、64ビットシステムにはインストールできません。32ビットシステム上での64ビットバージョンでも同様です。

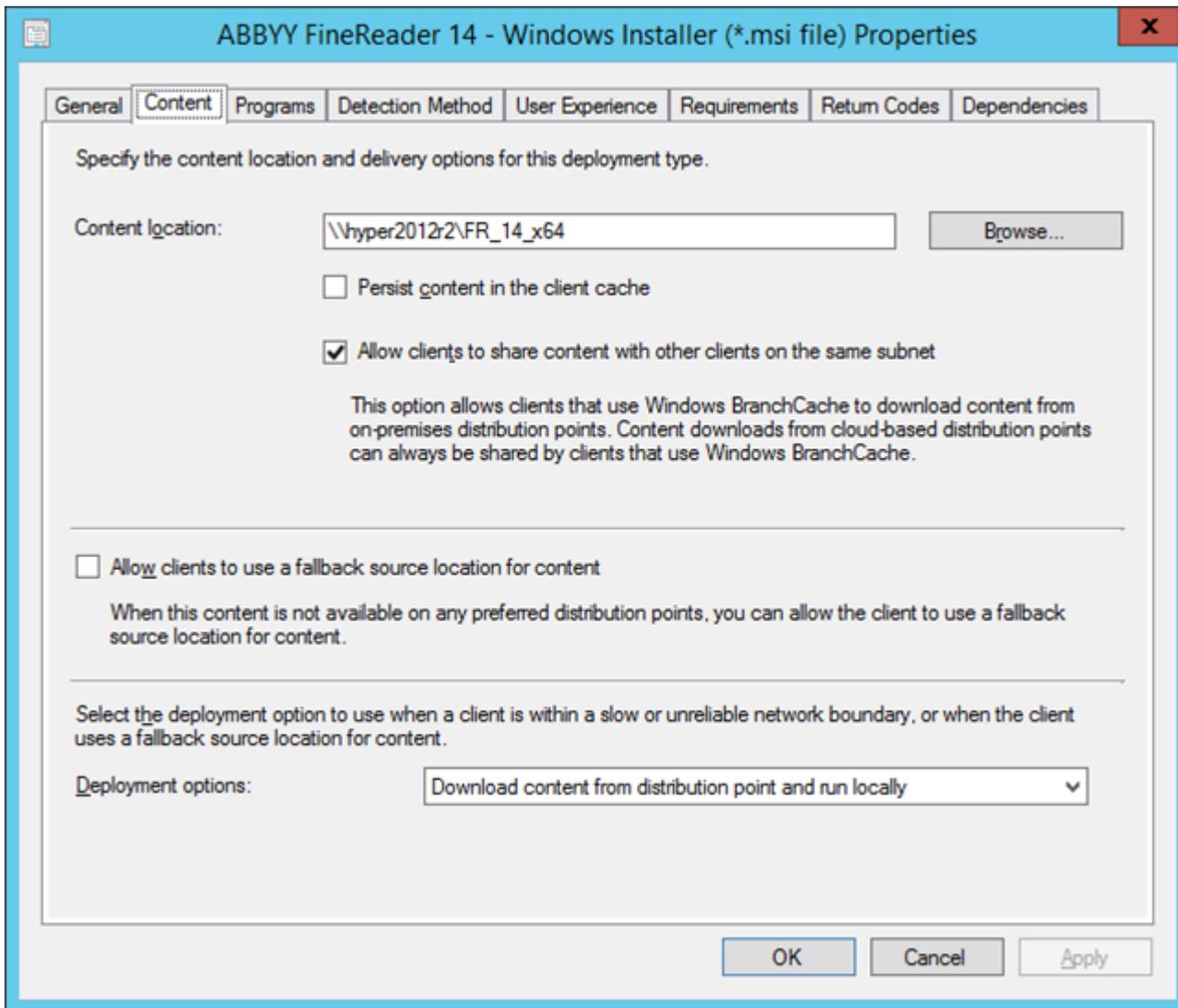


6. ABBYY FineReaderに関する必要な情報を指定します。[Installation Program] インストールプログラムファイルに変更を加えないでください。[Next]次へをクリックします。



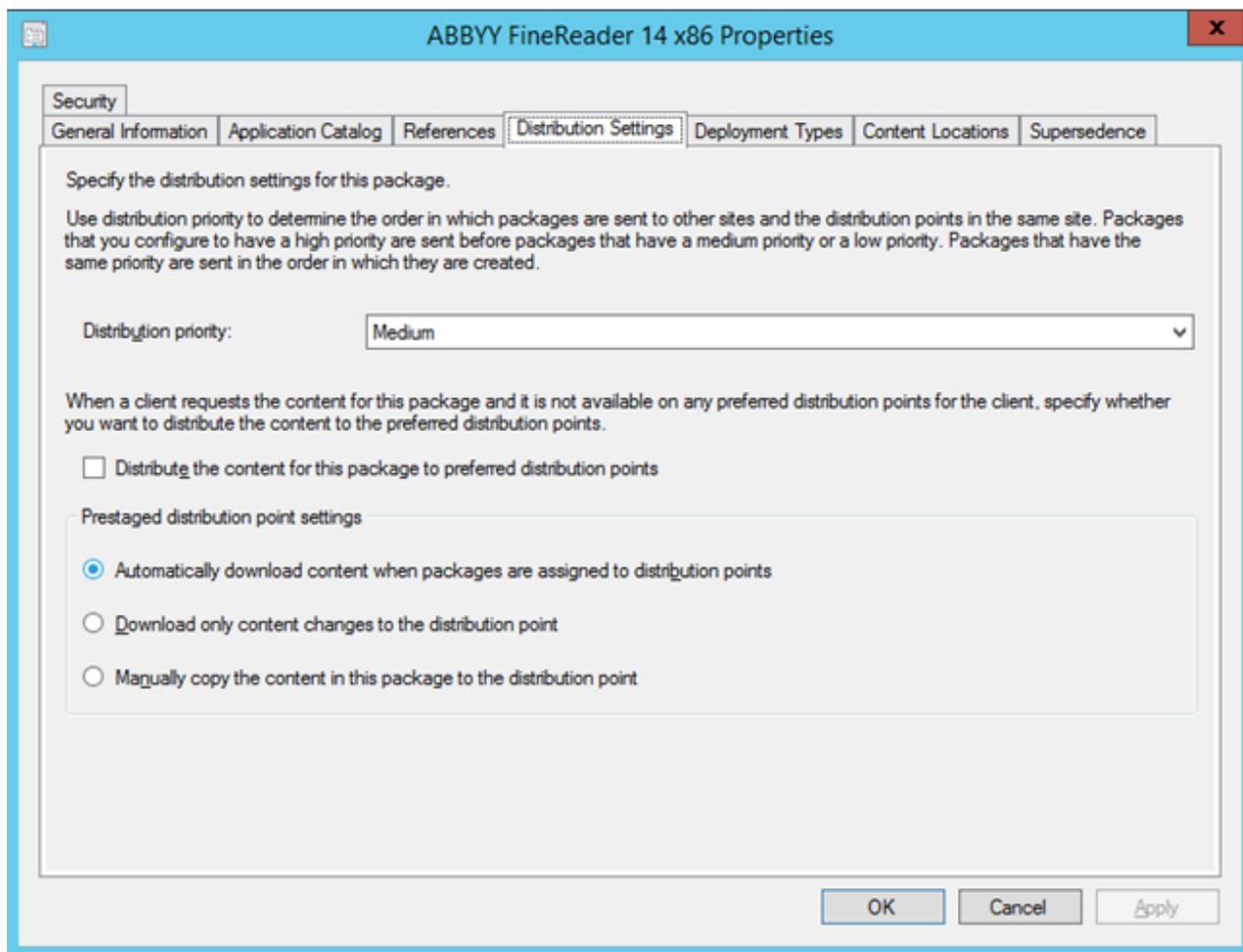
7. アプリケーションが正常に作成されたことを確認し、アプリケーションの作成ウィザードを閉じます。





8. インストールファイルをワークステーションに自動的にアップロードする方法:
 - a. 作成したアプリケーションを右クリックし、ショートカットメニューの[Properties] プロパティをクリックします。

- b. ダイアログボックスが表示されたら **[Distribution Settings]** 配布の設定 タブを選択し **[Automatically download content when packages are assigned to distribution points]** パッケージが配布ポイントに割り当てられたときに内容を自動的にダウンロードするオプションを有効にします。



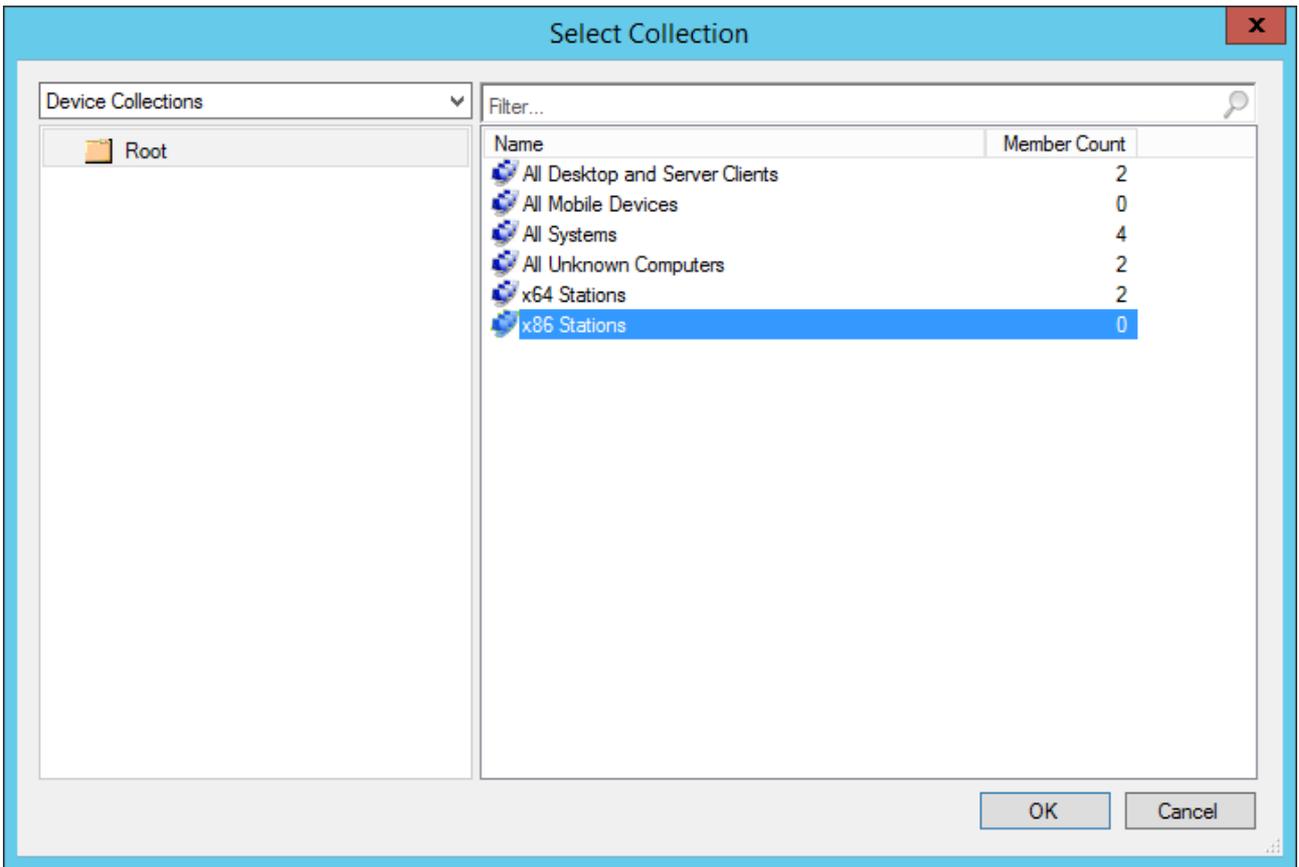
9. 推奨される設定:

[Deployment Types] 展開 タイプ タブで、ABBYY FineReader 14 Windows インストーラを選択し **[Edit]** 編集をクリックします。プロパティダイアログボックスで、**[Content]** コンテンツ タブを選択し **[Deployment options]** 展開 オプション **[Download content from distribution point and run locally]** を配布ポイントからコンテンツをダウンロードしてローカルで実行するように設定します。

10. アプリケーションをワークステーションに展開するには、アプリケーションを右クリックし、ショートカットメニューの **[Deploy]** 展開 をクリックします。 **[Collection]** コレクションで目的の **[Device Collection]** デバイスコレクションを選択します。

注: **[User Collection]** ユーザー・コレクションのインストールはサポートされていません。

11.通常どおり 残りの展開プロセスを完了します。



ABBYY FineReader 14をターミナルサーバーにインストールする

ターミナルサーバーライセンス

ターミナルサーバーライセンスは、ABBYY FineReader 14の最大ユーザー数を制限できます。ユーザーの総数は、管理者により監視可能です。最大ユーザー数に達すると、管理者は次の操作を実行できます:

1. **ライセンスユーザー**ダイアログボックスのリストから特定のユーザーを削除します。ユーザーを管理するには、ABBYY FineReader 14で**ヘルプ > バージョン情報 > ライセンス**をクリックし、**ターミナルサーバー**のライセンスを右クリックし、ショートカットメニューの**ライセンスユーザー**をクリックします。
2. 同じターミナルサーバー上で追加のライセンスを有効にします。ユーザーが初めて接続するときは、ランダムに選択された無料のライセンスを使用してセッションを取得します。

インストール

ABBYY FineReader 14の展開は、Citrix XenApp 7.0以降、Windows Remote Desktop Services 7.0 搭載の Windows Server 2012 R2 (Windows RemoteAppおよびCitrix XenAppを使用してセットアップを実行)で検証済みです。これらのソリューションは、ABBYY FineReader 14のすべてのバージョンで使用できます。

ABBYY FineReader 14はアプリケーションストリーミングをサポートしていません。

ターミナルサーバーライセンス

1. ABBYY FineReader 14をターミナルサーバーにインストールする。標準のソフトウェアインストール方法を使用するか、管理インストールを実行できます。このライセンスタイプでライセンスサーバーをインストールする必要はありません。
2. ABBYY FineReader 14のライセンス認証。
3. インストール済みアプリケーションをサーバーからアクセスするシナリオを使用するようにWindows RemoteAppまたはCitrix XenAppをセットアップする。

注 ABBYY FineReader 14は、ターミナルサーバー上でローカルで実行できます。

コンカレントライセンス

1. 管理者用インストールを実行します。
ライセンスサーバーとライセンスマネージャは、ローカルエリアネットワーク内の任意のコンピュータにインストールできます。詳細は、[マルチユーザー管理インストールポイントの作成](#)^[10]を参照してください。

注 .ライセンスサーバーはターミナルサーバーにインストールできます。

2. ライセンスマネージャを起動します。
3. License Managerにすべてのライセンスを追加します。
4. ターミナルサーバーに管理者用インストールフォルダからABBYY FineReaderの14をインストールします。

ABBYY FineReaderは、ターミナルサーバーにワークステーションとしてインストールされます。ユーザーはサーバーに接続し、クライアントを介してFineReaderを使用することができます。同時接続の数は、**コンカレントライセンス**により制限されます。

注

1. FineReaderを起動せずにABBYY Screenshot Readerまたは他のバンドルアプリケーションを起動した際にも、**コンカレントライセンス**がユーザーに適用されます。
2. ABBYY Screenshot Readerがターミナルサーバーにインストールされ、Windows RemoteAppまたはCitrix XenApp経由でアクセスされる場合、ユーザーはターミナルサーバー上で実行されているアプリケーションでのみスクリーンショットを作成できます。

ターミナルサーバーシステムの要件

ABBYY FineReader 14は次のターミナルサーバー構成でテストされています：

1. Microsoft® Windows Server® 2012 R2、2008 R2 (リモートデスクトップ、RemoteApp、リモートデスクトップウェブアクセス)が稼働しているコンピューター
2. Citrix XenApp 7.9

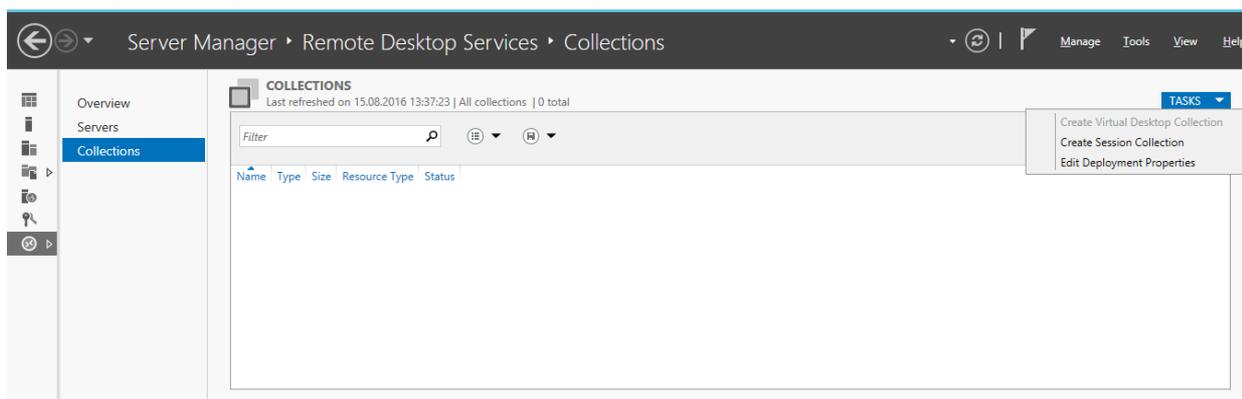
Windows RemoteAppのセットアップ

ABBYY FineReader 14は、RemoteAppを使用して展開できます。以下の手順では、Microsoft Windows Server 2012 R2にRemoteAppをセットアップする方法について説明します。

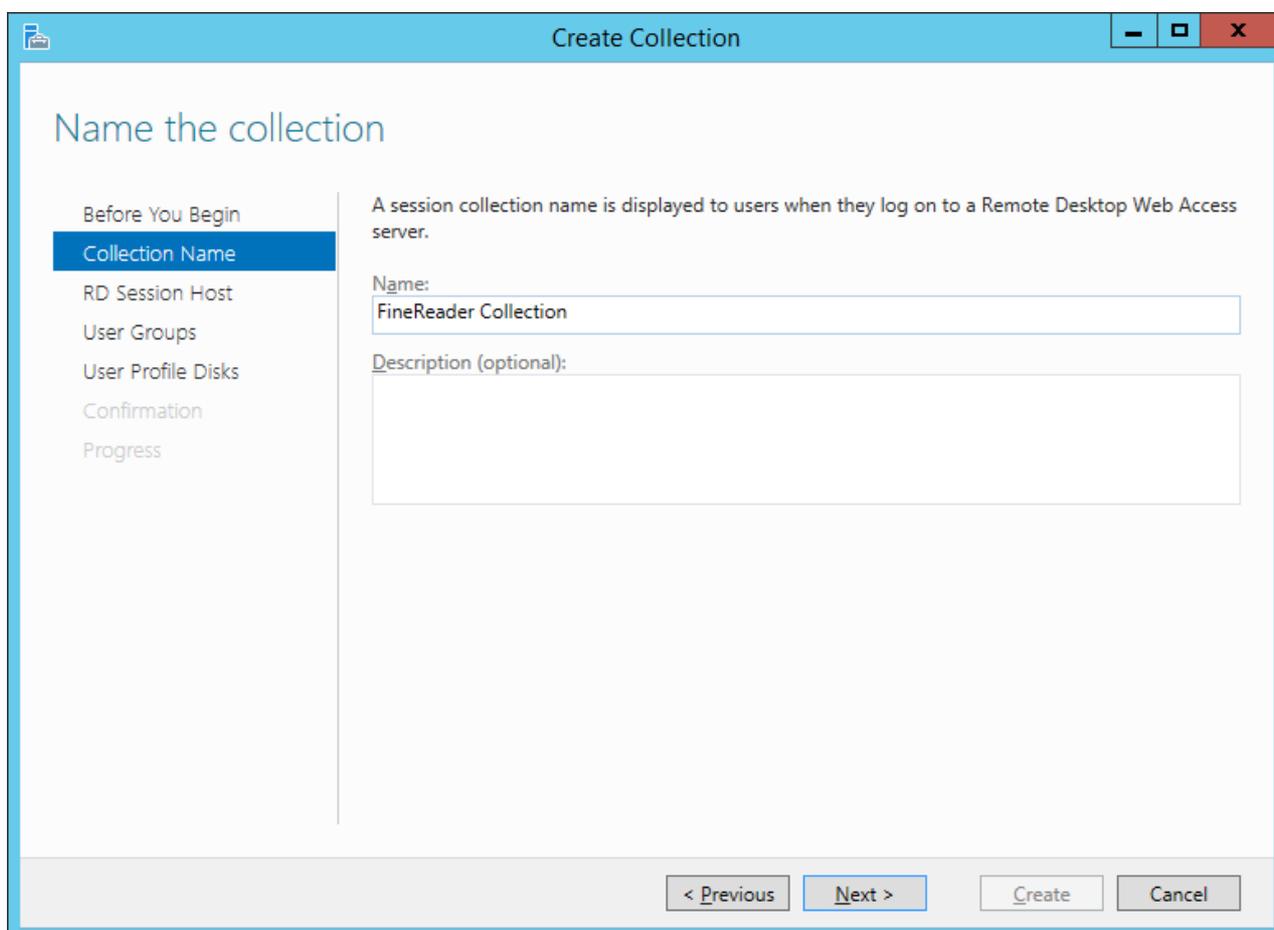
ABBYY FineReader 14をサーバーにインストールします。

セッションコレクションを作成する

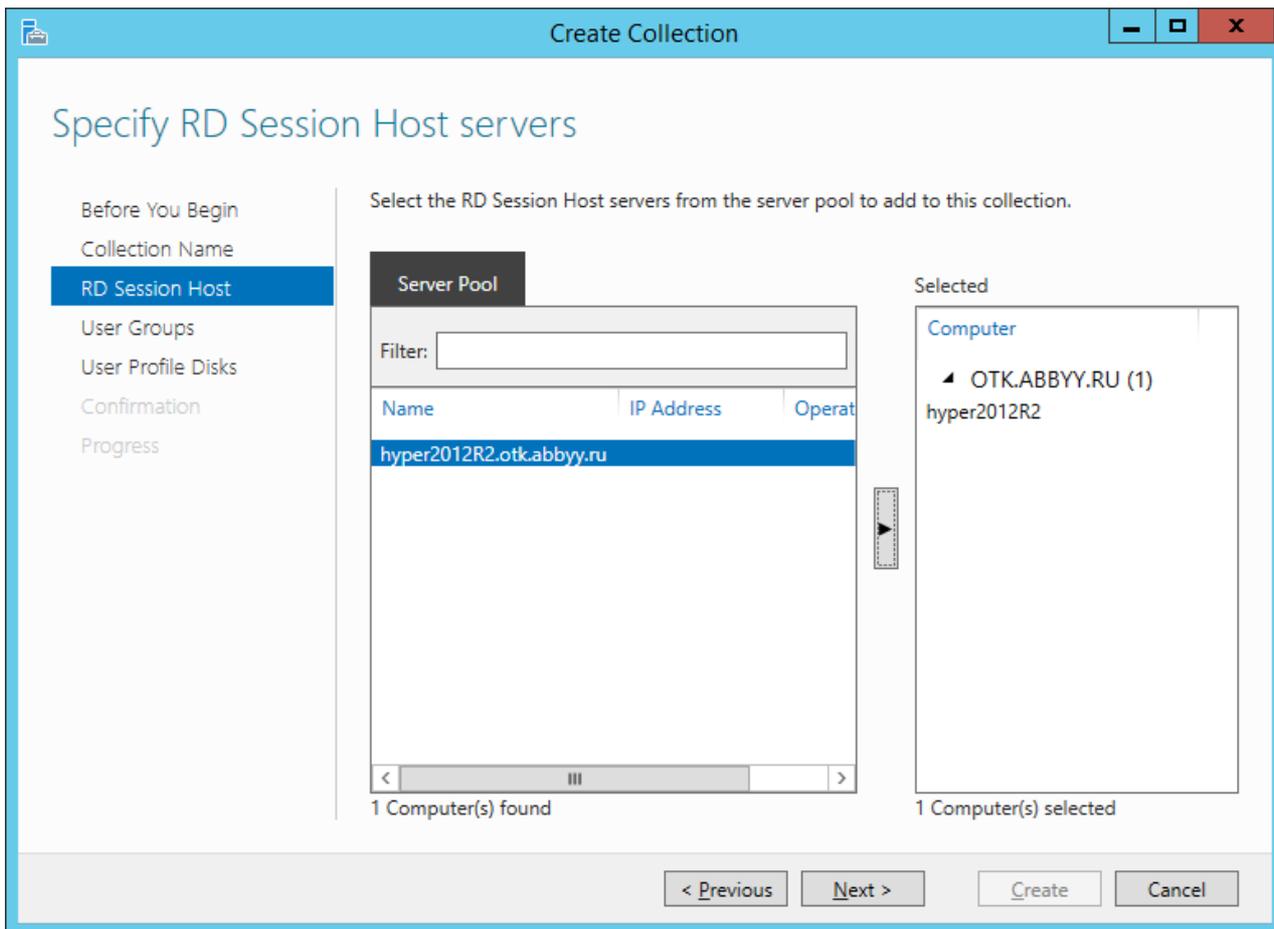
1. **[Server Manager] サーバーマネージャ**を開き、**[Remote Desktop Services] リモートデスクトップサービス > コレクション[Collections]**をクリックします。
2. **[TASKS] タスク > [Create Session Collection] セッションコレクションの作成**をクリックします。



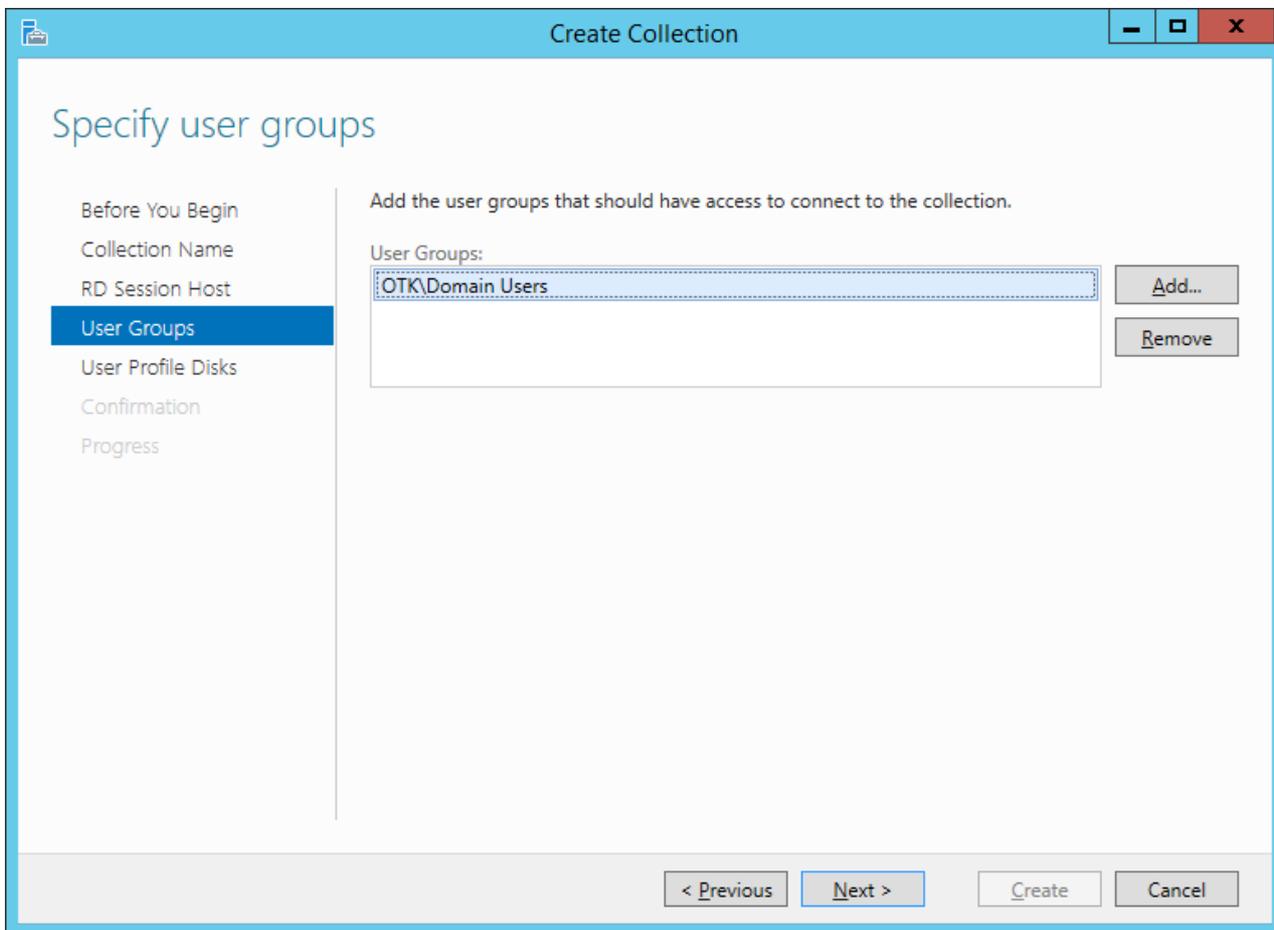
3. **コレクションの名前を指定**します。



4. アプリケーションを実行するサーバーを選択します。



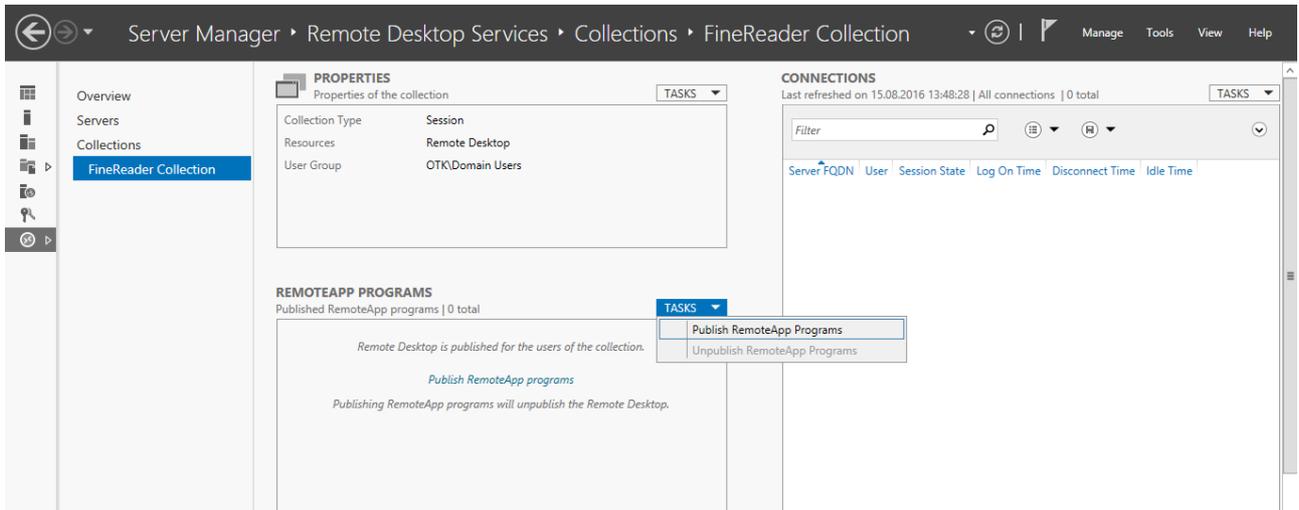
5. アプリケーションにアクセスするグループを選択します。



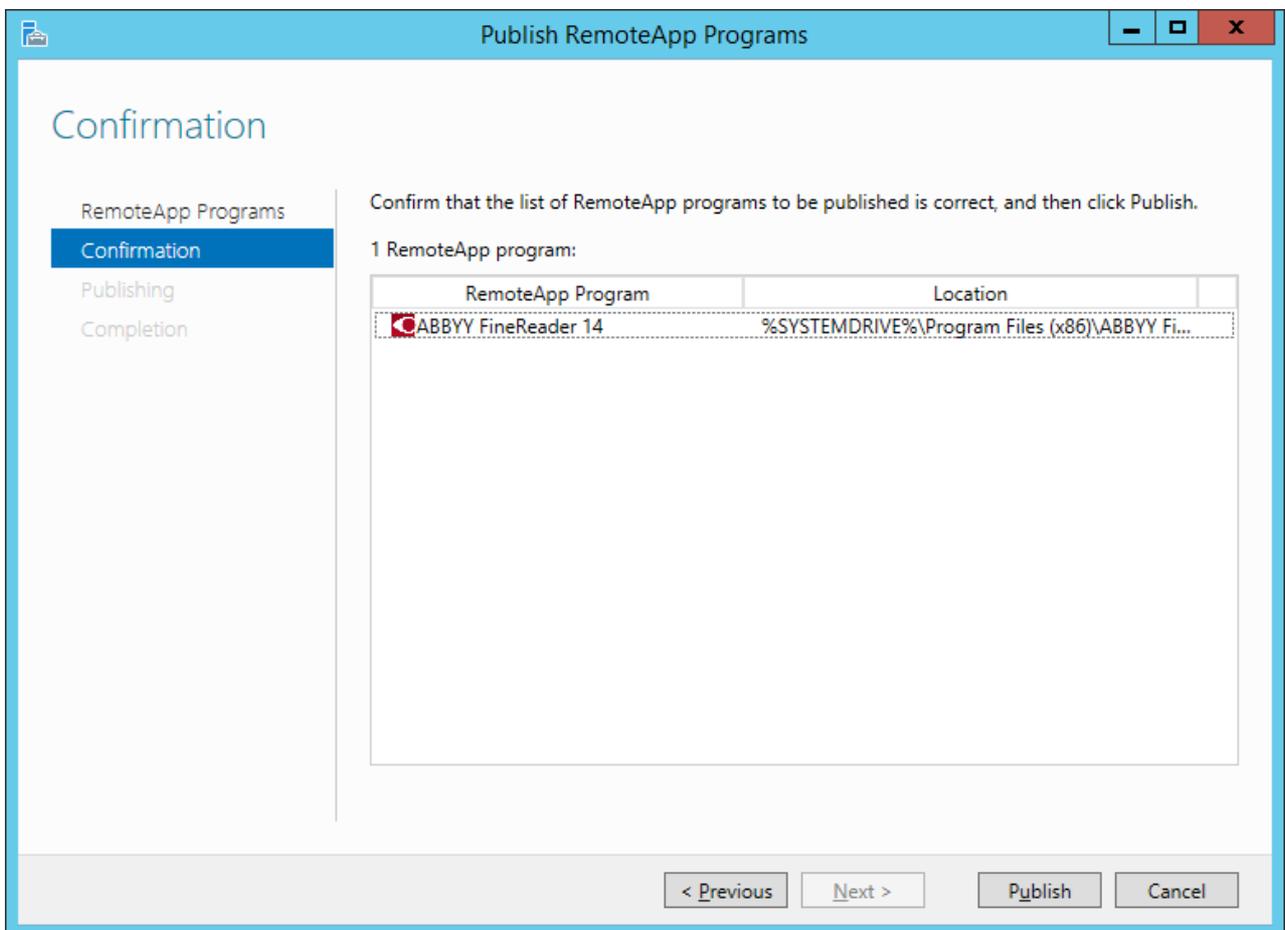
6. **[User Profile Disc]**ユーザープロフィールディスクを追加するかどうかを指定します。
7. **[Create]**作成 をクリックします。

ABBYY FineReader 14をコレクションに追加する

1. **[Server Manager]**サーバーマネージャを開き、**[Remote Desktop Services]** リモートデスクトップサービス > **[Collection]** コレクション > **[コレクションの名前]** をクリックします。
2. **[TASKS]** タスク > **[Publish RemoteApp Programs]** RemoteApp プログラムの公開 をクリックします



3. ABBYY FineReader 14を選択し、**[Next]**次へをクリックします。



4. **[Publish]**公開 をクリックします。

Citrix XenAppのセットアップ

Citrix XenAppを使用してABBYY FineReader 14を展開する場合は、**[Installed application accessed from a server]**サーバーからアクセスするインストールされたアプリケーションのシナリオを使用します。

ABBYY FineReader 14 Corporateの展開:

1. Citrixファームの配信グループのすべてのサーバーにFineReaderをインストールします。
2. 十分な数のコンカレントライセンスを持つライセンスサーバーを作成します。FineReaderを同時に使用できるユーザーの数は、インストールされているコンカレントライセンスの数によって制限されます。

注 FineReaderを起動せずにABBYY Screenshot Readerまたは他のバンドルアプリケーションを起動した際にも、コンカレントライセンスがユーザーに適応されます。

*ファームとは、集中管理、負荷分散、フォールトトレランスを実現するためにグループ化された複数のCitrixサーバーです。

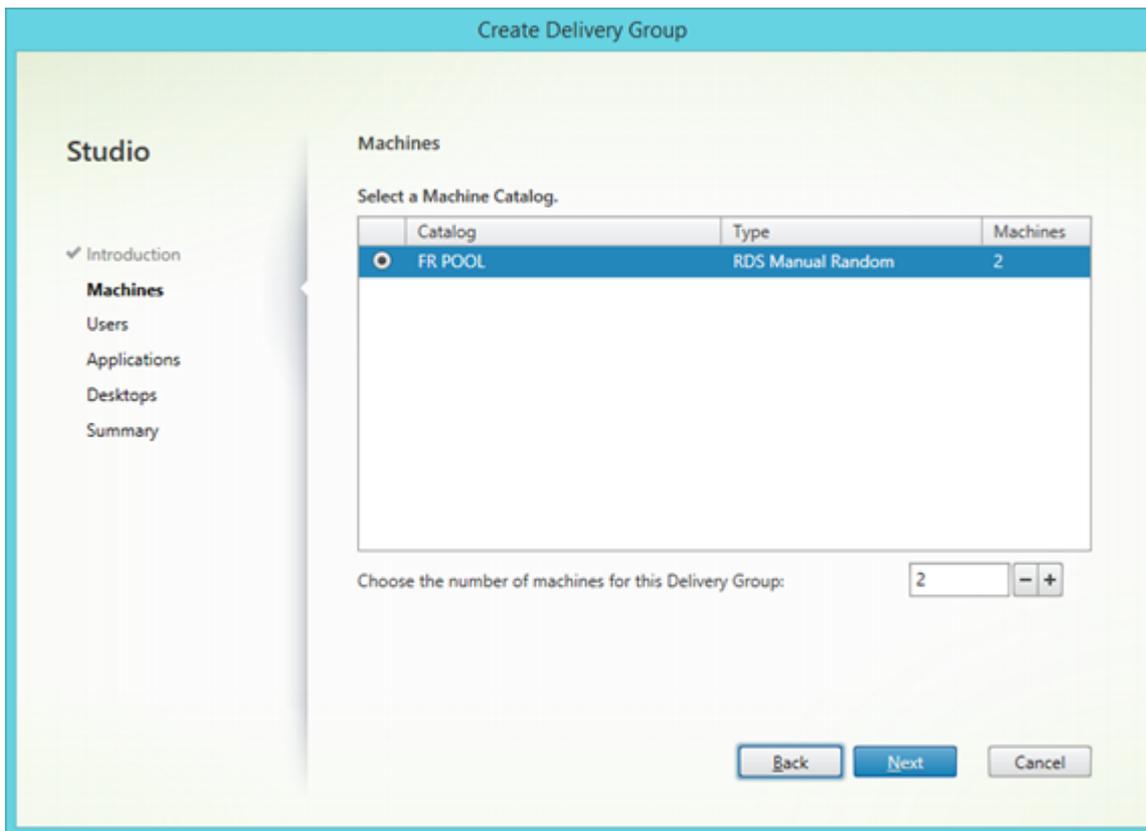
例: Citrix XenApp 7.9のセットアップ

1. Citrix Studio (バージョン7.0以降)を開きます。
2. ABBYY FineReader 14を展開するファームを選択します。
3. FineReaderの配信グループを作成するか、既存のグループにFineReaderを追加します。

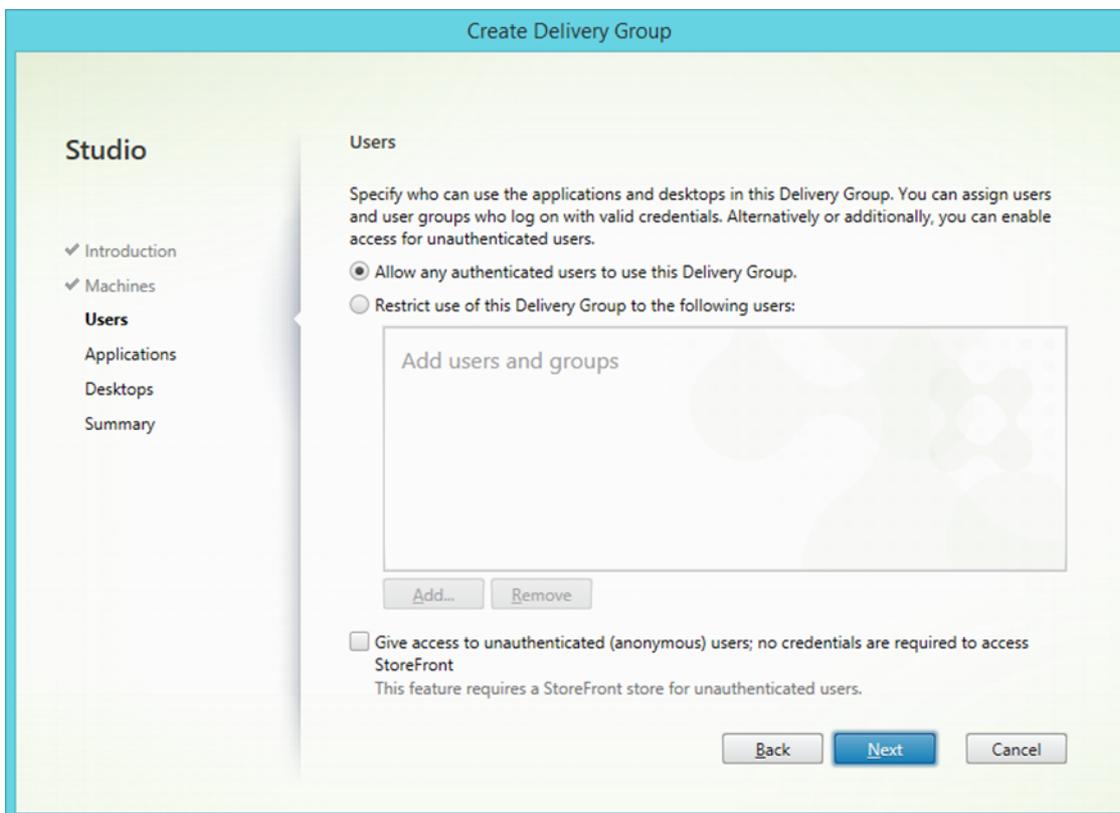
新しい配信グループを作成する

1. **[Delivery Groups]配信グループ > [Create Delivery group] 配信グループの作成**をクリックします。

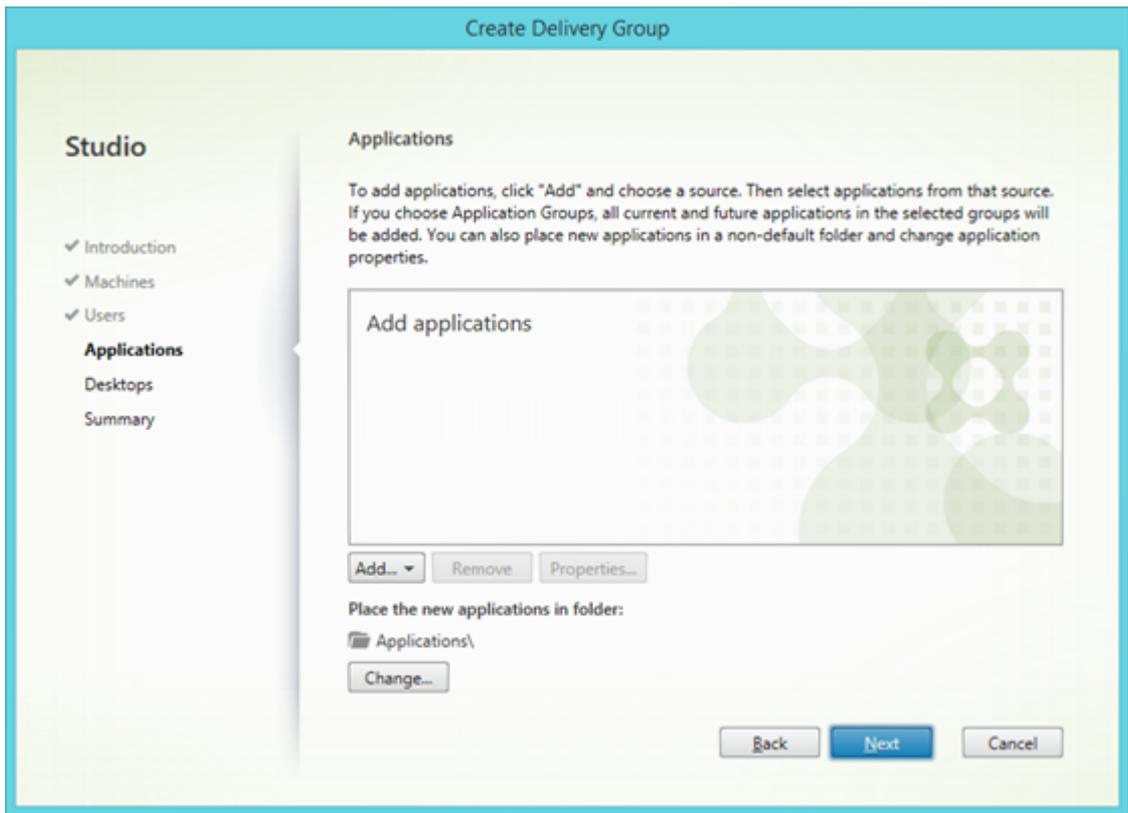
2. **[Machines] マシンステップ**では、リストからマシンカタログを選択し、使用するサーバーの数を指定します。



3. **[Users] ユーザーステップ**で、配信グループにアクセスするユーザーを指定するか、配信グループを特定のユーザーに制限します。

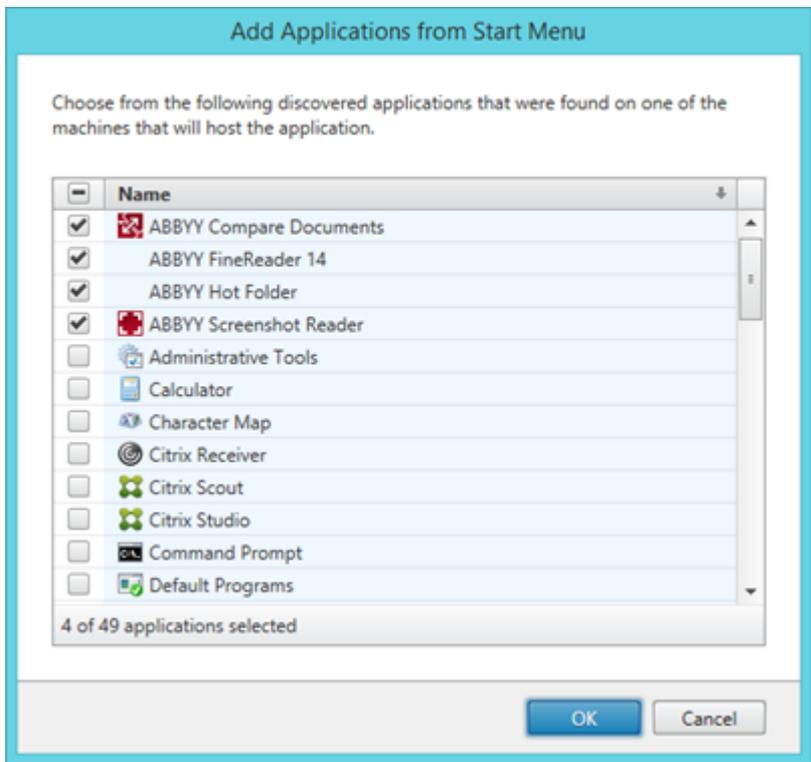


4. **[Applications] アプリケーションステップ**で、**[Add...]追加 ..**をクリックし、配信グループで開始できるアプリケーションを選択します。



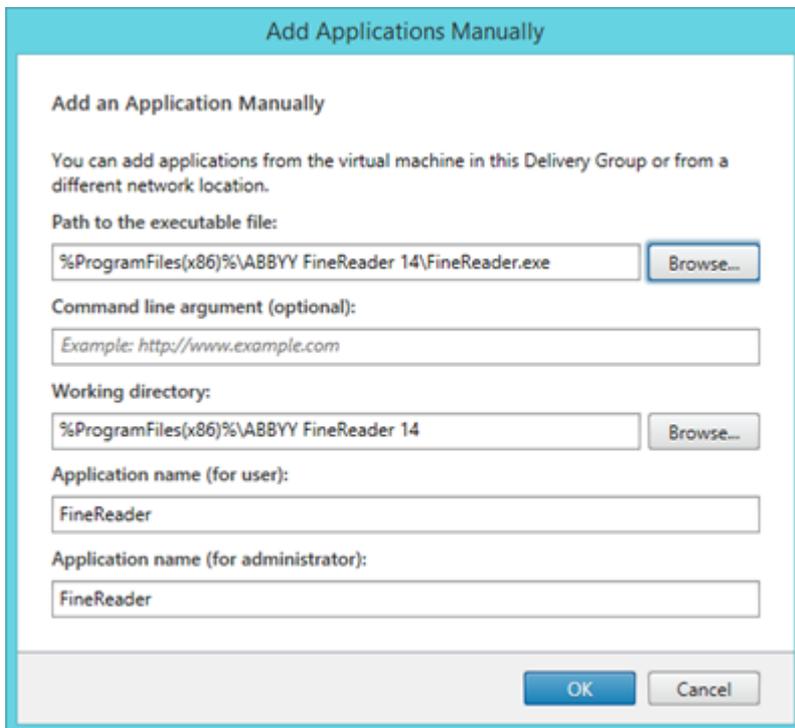
4.1. **[From start menu...] スタートメニューから ...**

リストからABBYY FineReader 14を選択します。FineReaderを起動することなく ハンドルされたアプリケーションにアクセスできるようにするには、アクセスするアプリケーションを選択します。[OK] をクリックします。

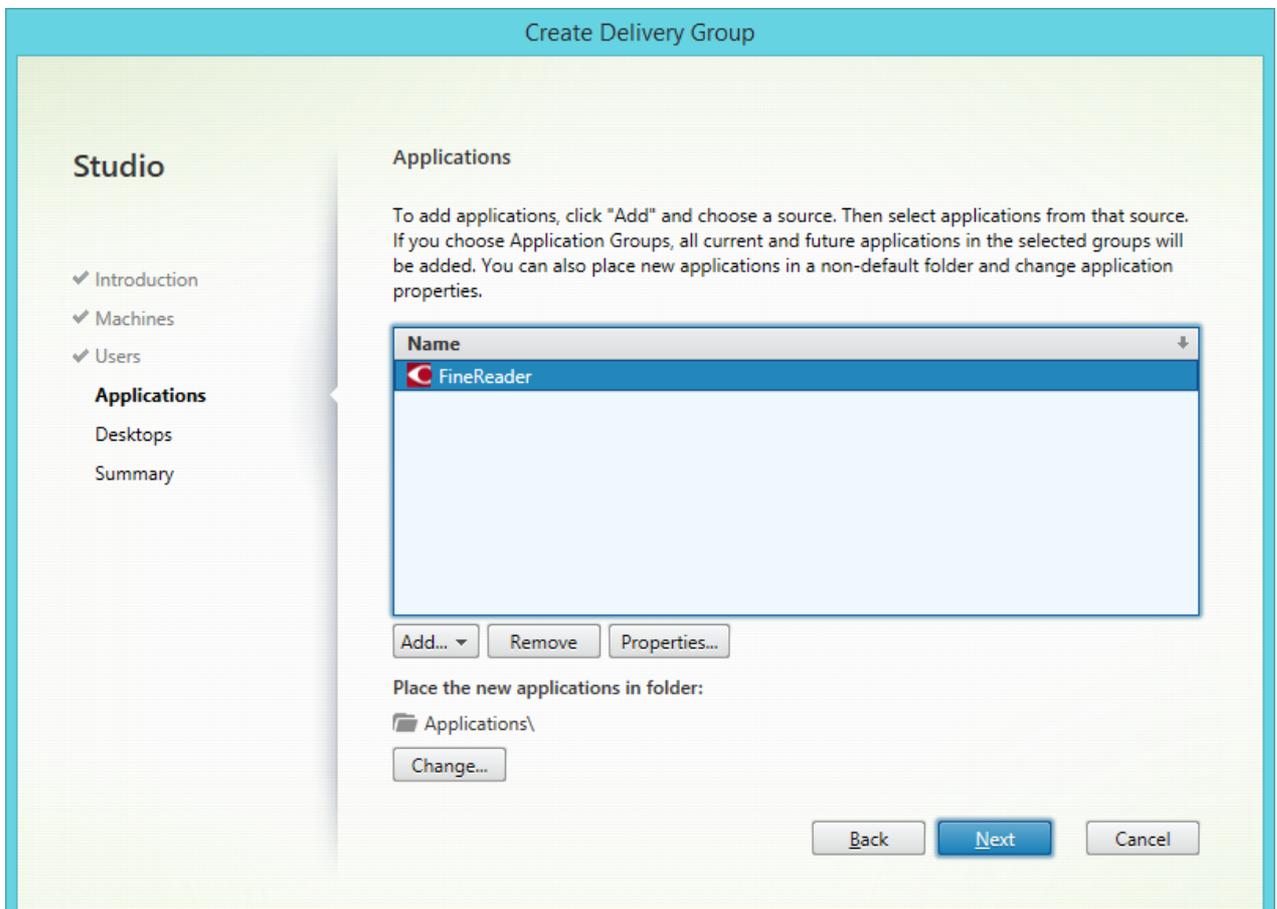


4.2.[Manually...]手動 ...

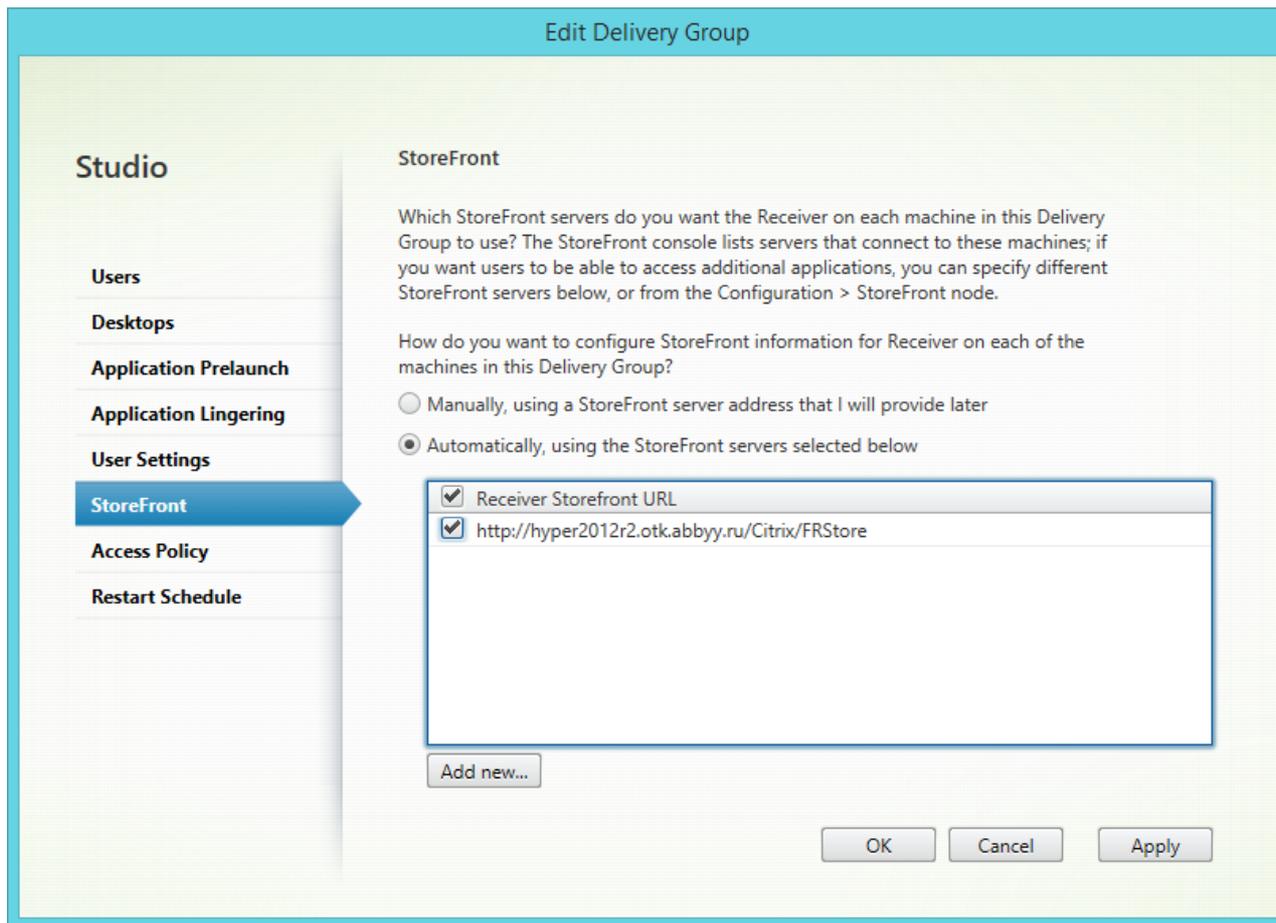
選択したサーバーで複数のアプリケーションディレクトリを使用できる場合は、[Working directory]作業ディレクトリボックスにABBYY FineReader 14が存在するディレクトリを選択します。[Path to the executable file]実行可能ファイルへのパスで、FineReader.exeへのパスを指定し、ユーザーと管理者のアプリケーション名を指定します。[OK] をクリックします。



4.3.ABBYY FineReader 14と同じ配信グループに表示するアプリケーションを追加し、次へをクリックします。



5. **[Destops] デスクトップ**ステップで、配信グループが提供するデスクトップを追加します。デスクトップへのアクセスを提供しない場合は、この手順を省略してください。
6. **[Summary] 要約**ステップで、**[Delivery Group name] 配信グループ名**の下に配信グループの名前を指定し、**[Delivery Group description, used as label in Receiver (optional)] 配信グループ説明**の下に**受領者 (オプション)**のラベルとして使用する説明を指定します。配信グループ作成プロセスを完了します。
7. 作成した配信グループを選択し、**[Edit Delivery Group] 配信グループの編集**をクリックします。ダイアログボックスが表示されたら、**StoreFront**タブを選択し、**[Automatically, using the StoreFront servers selected below] 自動的に、以下で選択したStoreFrontサーバーを使用するオプション**を有効にして、配信グループのStoreFrontサーバーを指定します。



ABBYY FineReader 14を既存の配信グループに追加する方法:

1. FineReaderを追加する配信グループを選択し、**[Add Applications] アプリケーションの追加**をクリックします。
2. ABBYY FineReader 14を**手順4**⁴⁹で説明したのと同じ方法で新しい配信グループに追加します。

インストールの更新

To update ABBYY FineReader 14 on workstations, complete the following steps:

1. Download the installation files of the latest version of ABBYY FineReader 14.
2. Install ABBYY FineReader 14 on workstations without creating an administrative installation point.
You can use any installation method. See [Installing ABBYY FineReader 14 on Workstations](#)^[18].

FAQ (よくある質問)

ABBYY FineReader

14がインストールされているオペレーティングシステムを複製できますか？

ABBYY FineReader 14を展開するには、Microsoft Windows 7/8/10オペレーティングシステムを複製することができます。OSを複製した後、ABBYY FineReader 14を有効にする必要があります。ライセンス認証されていない ABBYY FineReader 14のコピーは、製品のバージョンに応じて実行されないか、または試用モードで実行されます。製品のバージョンによっては、ユーザーに確認を求めることなくインターネットを介して自動的にライセンス認証を行います。詳細については、[マルチユーザー管理インストールポイントの作成方法](#)^[17]を参照してください。

重要！

1. 複製は、複製されるコンピュータでまだABBYY FineReader 14を実行していない場合にのみ可能です。
それ以外の場合は、そのコンピュータでABBYY FineReader 14を修復する必要があります。[ABBYY FineReader 14をワークステーションで修復する方法](#)^[56]を参照してください。
2. OSの複製後、そのOS名とセキュリティ識別子 (SID) を変更する必要があります。
3. ABBYY FineReader 14の試用版は複製可能です。

ネットワーク接続設定を変更するには、どうすればよいですか？

License Server、License Manager、およびワークステーションの間の通信に使用する接続設定は、変更が可能です。

ネットワーク接続のセットアップ

1. ネットワーク接続をセットアップするには、次のファイルを使用します

%programfiles%\Common Files\ABBYY\FineReader\14.00\Licensing\Licensing.ini

このファイルは License Server がインストールされているコンピュータにあります。

2. 上記のファイルで、必要に応じてパラメータを変更します。

- 接続プロトコル

詳細については [接続プロトコルのセットアップ^{\[56\]}](#) を参照してください。

- 接続ポート

詳細については [接続プロトコルのセットアップ^{\[56\]}](#) を参照してください。

例:

[Licensing]

ConnectionProtocolType=TCP/IP

ConnectionEndpointName=81

注意: ファイアウォールによって、**%programfiles%\Common Files\ABBYY**

FineReader\14.00\Licensing\NetworkLicenseServer.exe が指定されたポートにアクセスできなくなっていることを確認してください。

3. **Licensing.ini** ファイルをコピーします

- License Manager がインストールされているすべてのコンピュータの License Manager フォルダ(既定では License Manager は **%programfiles%\ABBYY FineReader 14 License Server** にインストールされます)

- FineReader.exe がある管理インストール フォルダ

例: **\\MyFileServer\Distribs\ABBYY FineReader 14**

重要事項 変更を有効にするためには、ABBYY FineReader 14 CE Licensing Service を再起動する必要があります

4. ワークステーションに ABBYY FineReader をインストールします。

ワークステーションへの ABBYY FineReader 14 のインストール

注意: ABBYY FineReader がすでにワークステーションにインストールされている場合は、すべてのワークステーションで ABBYY FineReader を修復します。方法の詳細については以下を参照してください [ワークステーションで](#)

[ABBYY FineReader 14 を修復するには、どうすればよいですか?^{\[18\]}](#)

接続プロトコルのセットアップ

[Licensing]

ConnectionProtocolType=[TCP\IP | NAMED PIPES]

このパラメータにより、使用されるプロトコル(TCP/IP) すなわちNamed Pipes を指定できます。この情報は次のように使用されます。

- License Manager がLicense Server にアクセスするため
- ワークステーションでABBYY FineReader のインストールまたは修復を行う際にワークステーションがLicense Server にアクセスするため

既定では、**Named Pipes** が使用されます。

接続ポートのセットアップ

[Licensing]

ConnectionEndpointName=[port number for TCP\IP | channel name for Named Pipes]

このパラメータにより、接続プロトコルのポート数またはNamed Pipes のチャンネルの名前を指定できます。この情報は次のように使用されます。

- License Manager がLicense Server にアクセスするため
- ワークステーションでABBYY FineReader のインストールまたは修復を行う際にワークステーションがLicense Server にアクセスするため

注意: License Server のインストール時にプログラムによって設定されるNamed Pipes プロトコルの名前付きチャンネルの名前を変更しないようにしてください。

ワークステーションで ABBYY FineReader 14

を修復するには、どうすればよいですか?

インタラクティブ モードでの ABBYY FineReader 14 の修復

ワークステーションで以下の操作を行います。

1. タスクバーで[スタート] ボタンをクリックし、次に[コントロールパネル] > [プログラムと機能] をクリックします。
2. インストールされているプログラムのリストから[ABBYY FineReader 14] を選択し、[Change] (変更) をクリックします。
3. 表示された[Program Maintenance] (プログラムの管理) ダイアログボックスで [Repair] (修復) を選択し、[Next] (次へ) をクリックします。
4. ウィザードに表示される手順に従います。

コマンドラインを經由した ABBYY FineReader 14 の修復

ワークステーションで次のコマンドを実行します。

```
msiexec /x {F14000CE-0001-0000-0000-074957833700}
```

あるいは

```
msiexec /x {F14000FE-0001-6400-0000-074957833700} (x64の場合)
```

License Server をホストしているコンピュータの名前を変更したり License Server を別のコンピュータに移動したりするには、どうすればよいですか？

ローカルエリアネットワークで ABBYY FineReader を展開し、その後で License Server をホストしているコンピュータの名前を変更した場合または License Server コンピュータで予期しないエラーが発生した場合は、次の操作を行ってください。

1. License Server がインストールされているコンピュータから License Server を削除します。
注意: そのコンピュータがアクセス不可能な場合は、ステップ 2 に進みます。
 - 1.1. タスバーで **[スタート]** ボタンをクリックし、次に **[コントロールパネル]** > **[プログラムと機能]** をクリックします。
 - 1.2. インストールされているプログラムのリストから **[ABBYY FineReader 14 License Server]** を選択し、**[Remove]** (削除) をクリックします。
2. **\\NewServer** など異なるコンピュータに License Server をインストールします。
3. License Manager がインストールされているすべてのコンピュータで、
 %Program Files%\ABBYY FineReader License Server\LicenseManager.ini というファイルのパラメータを次のように編集または追加します
[Licensing]
 NetworkServerName=<コンピュータ名>
 このパラメータにより License Manager がアクセスするサーバーの名前を指定できます。たとえば、次のように指定します
[Licensing]
NetworkServerName=MyComputerName
重要事項 変更を有効にするためには、ABBYY FineReader 14 Licensing Service を再起動する必要があります。
4. ABBYY FineReader 14 License Manager でライセンスの追加と認証を行います。詳細については ABBYY FineReader License Manager ヘルプのファイルを参照してください。
5. 管理インストールポイントで ABBYY FineReader 14 フォルダに移動し、**Licensing.ini** ファイルを作成します。詳細については [管理インストールポイントの作成](#)^[13] を参照してください。
6. 作成した **Licensing.ini** ファイルの **[Licensing]** セクションに **NetworkServerName** パラメータを追加します。このパラメータはサーバーの名前を指定します。例:
[Licensing]
NetworkServerName=MyComputerName
7. ABBYY FineReader をワークステーションに再インストールします。
 詳しくは [ワークステーションへの ABBYY FineReader 14 のインストール](#)^[18] を参照してください。

8. 「<COMPUTER NAME>.ABBYY.LicServer」という名前のファイルが作成されます。<COMPUTER NAME> は NetworkServerName パラメータの値です。例 :MyComputerName.ABBYY.LicServer。
「<COMPUTER NAME>.ABBYY.LicServer」ファイルを別のワークステーションにコピーします。このファイルがある場所：
%programdata%\ABBYY\FineReader\14.00\Licenses (Windows 7 以降を使用している場合)。

テクニカル サポート

ABBYY FineReader 14 のインストール方法や使用方法について疑問があり、この『システム管理者ガイド』で答えが見つからない場合は、ABBYY テクニカルサポートまたは ABBYY パートナー会社までお問い合わせください。連絡先情報については、www.abbyy.com の「サポート」セクションを参照してください。